NTT docomo

衛星可搬端末　０１

ISSUE DATE: '12.4

NAME:

PHONE NUMBER:

MAIL ADDRESS:

取扱説明書

目次／注意事項

ご使用前の確認

電話

電話帳

音／画面／照明設定

あんしん設定

便利な機能

文字入力

ネットワークサービス

データ通信／ FAX 通信

付録／困ったときには

索引

はじめに

「衛星可搬端末　０１」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用の前やご利用中に、この取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。
衛星可搬端末　０１を大切にお取り扱いの上、末長くご愛用ください。

衛星端末のご使用にあたって

- 衛星端末はドコモの提供するワイドスターのネットワークおよびサービスエリアに対応しています。
- 衛星端末は衛星の電波を受信しますが、衛星を見渡せない場所（建物や街路樹のかげなど）ではご使用になれません。また、移動せずに使用している場合でも通話が切れることがありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方の迷惑にならないようにご使用ください。
- 衛星端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースがないともいえません。しかし、本機では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- 衛星端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行なっていることから、電波状態の悪い場所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- 衛星可搬端末　０１は、日本国外ではご使用になれません。
  This terminal is exclusively for use in Japan.
- アンテナ前面から電波が放射されます。通信中は、アンテナ前面方向から１m以上離れてください。
- お客様ご自身で衛星端末および衛星ハンドセットに登録された情報内容（電話帳など）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。衛星端末および衛星ハンドセットの故障や修理、その他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

特長

- 日本全土がサービスエリア
  赤道上空36,000kmの静止衛星を利用し、４つのビームで山間部や人口密度の低い地域を含め日本全土※（沿岸約200海里）をカバーし通信サービスを提供します。 ※一部離島を除く
- データ通信に対応
  音声通話に加えデータ通信サービスやFAX 通信サービスを提供します。
- 容易な角度調整
  ３段階調整機能をもつスタンドにより、地域別に容易にビームを受信可能にします。
- FOMA 端末のような操作性
  FOMA 端末のような機能メニューで、容易に操作できます。

本書のご使用にあたって

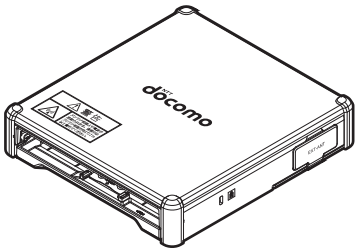
衛星可搬端末　０１をご利用になるには、衛星ハンドセット　０１（別売）が必要となります。
本書は、衛星可搬端末　０１と、衛星ハンドセット　０１を接続してご使用になるために必要な操作や設定について記載しています。

本書の最新情報は、ドコモの法人向けホームページよりダウンロードできます。
・「オンラインマニュアル（取扱説明書）」ダウンロード
　http://www.docomo.biz/
※URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

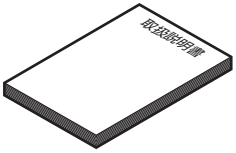
本体付属品および主なオプション品について

本体付属品

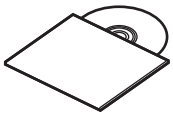
衛星可搬端末　０１（保証書含む）



取扱説明書（本書）



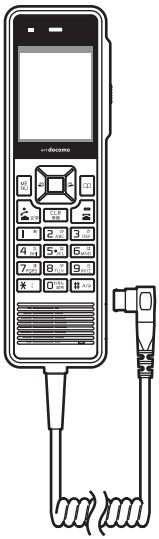
衛星可搬端末　０１用CD-ROM



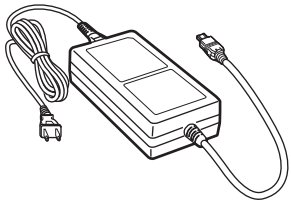
「通信確認ソフト」、「データ通信接続ソフト」、PDF版「データ通信マニュアル」、PDF版「区点コード一覧」を収録しています。

主なオプション品

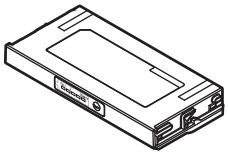
衛星ハンドセット　０１
（保証書、取扱説明書含む）



衛星ACアダプタ　０１
（ACケーブル、保証書、取扱説明書含む）



衛星電池パック　０１（取扱説明書含む）



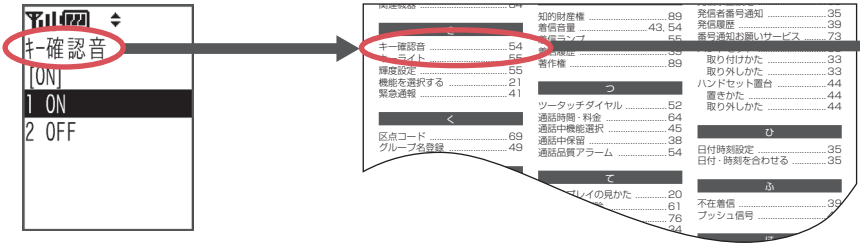
• その他のオプション品について→P88

本書の見かた／引きかた

さまざまな方法で知りたい機能や操作方法を探せます。「キー確認音」の記載ページを探すときを例に説明します。

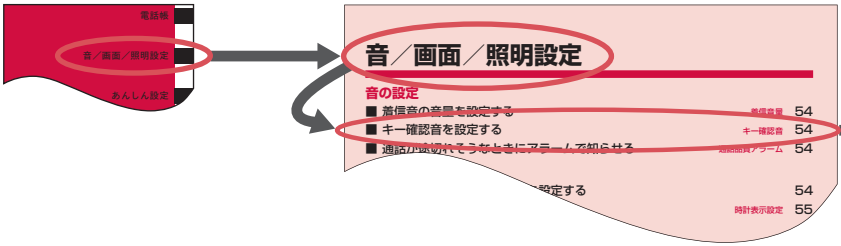
「索引」から探すとき　P96

あらかじめ機能名やサービス名がわかっているときは索引から探します。



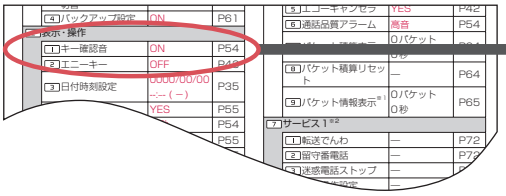
「表紙インデックス」から探すとき　表紙

表紙→章扉（章の最初のページ）→機能の記載ページという順で探します。

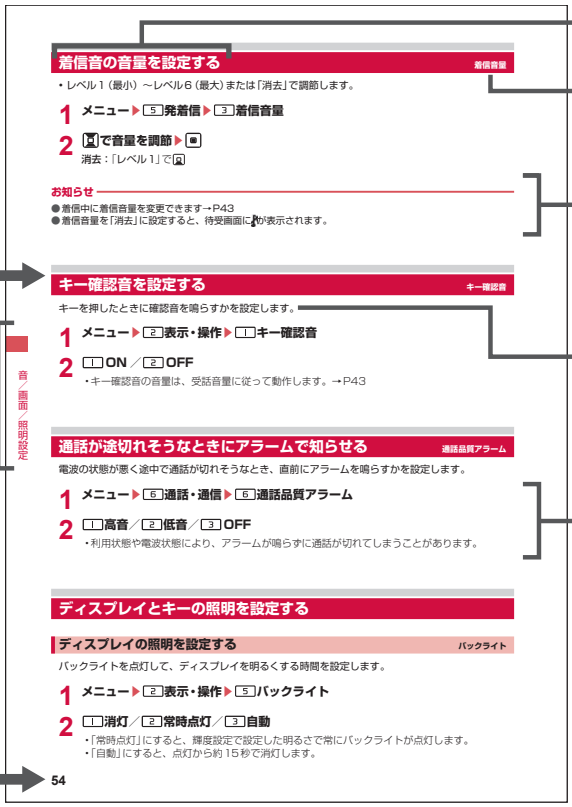


「メニュー一覧」から探すとき　P86

メニュー一覧から探します。



- この『衛星可搬端末　０１取扱説明書』の本文中においては、「衛星可搬端末　０１」を「衛星端末」、「衛星ハンドセット　０１」を「衛星ハンドセット」、「衛星ハンドセット置台　０１」を「衛星ハンドセット置台」、「衛星電池パック　０１」を「電池パック」、「衛星ACアダプタ　０１」を「ACアダプタ」、「衛星DCアダプタ　０１」を「DCアダプタ」、「衛星電池パック充電器　０１」を「電池パック充電器」、「衛星FAXアダプタ０１」を「衛星FAXアダプタ」と表記させていただいております。また、「ACアダプタ」と「DCアダプタ」を合わせて「アダプタ」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- ドコモUIMカードをご利用のお客様は、本書内に記載している「FOMAカード」は「ドコモUIMカード」と読み替えてください。
- 本書に掲載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。



着信音の音量を設定する　着信音量

・レベル1（最小）～レベル6（最大）または「消去」で調節します。

1 メニュー▶5発着信▶3着信音量

2 ▲▼で音量を調節▶●
消去：「レベル1」で▲

お知らせ
● 着信中に着信音量を変更できます→P43
● 着信音量を「消去」に設定すると、待受画面に🔔が表示されます。

キー確認音を設定する　キー確認音

キーを押したときに確認音を鳴らすかを設定します。

1 メニュー▶2表示・操作▶1キー確認音

2 1ON／2OFF
・キー確認音の音量は、受話音量に従って動作します。→P43

通話が途切れそうなときにアラームで知らせる　通話品質アラーム

電波の状態が悪く途中で通話が切れそうなとき、直前にアラームを鳴らすかを設定します。

1 メニュー▶6通話・通信▶6通話品質アラーム

2 1高音／2低音／3OFF
・利用状態や電波状態により、アラームが鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。

ディスプレイとキーの照明を設定する

ディスプレイの照明を設定する　バックライト

バックライトを点灯して、ディスプレイを明るくする時間を設定します。

1 メニュー▶2表示・操作▶5バックライト

2 1消灯／2常時点灯／3自動
・「常時点灯」にすると、輝度設定で設定した明るさで常にバックライトが点灯します。
・「自動」にすると、点灯から約15秒で消灯します。

54

音／画面／照明設定

タイトル

機能名
機能名は索引に記載されています。

お知らせ
機能などについての詳しい説明

機能の概要や操作するときに気をつけること

操作手順

インデックス

目次／注意事項

ページはサンプルです。本文中のページとは異なります。

● 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
● 本書では、キーの表記を省略しています。

実際のキー	本書での表記
1 *	1

● 本書では、操作手順を以下のように表記しています。

表記	意味
メニュー▶2表示・操作▶1キー確認音▶1 ON／2 OFF	待受画面でMENU 2 1を押した後、1または2のどちらかを押す。

目次

衛星端末のご使用にあたって ..... 表紙裏
特長 ..... 表紙裏
本書のご使用にあたって ..... 表紙裏
本体付属品および主なオプション品について 1
本書の見かた／引きかた 2
安全上のご注意（必ずお守りください） 6
取り扱い上のご注意 12

■ ご使用前の確認 15

各部の名称と機能、アンテナ面を衛星の方向に向ける、ランプの見かた、
ディスプレイの見かた、機能を選択する、FOMAカードを使う、
電池パックの取り付けかた／取り外しかた、充電する、電池残量の確認のしかた、
衛星ハンドセットの取り付けかた／取り外しかた、衛星屋外設置アンテナの取り付けかた、
電源を入れる／切る、日付・時刻を合わせる、電話をかけるときに通知／非通知を設定する、
自分の電話番号を確認する、契約者情報を確認する

■ 電話 39

電話をかける、発信履歴／着信履歴を利用して電話をかける、プッシュ信号を送る、
国際電話を利用する、緊急通報する、途切れた通話を自動的に接続する、
周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にする、エコーを抑える、電話を受ける、
ダイヤルキーを押して電話に出る、相手の声の音量を調節する、通話中の消費電力を節約する、
すぐに電話に出られないときに保留する、スピーカー受話に切り替える、
通話中に電話がかかってきたときの応答方法を設定する、自動で電話を受ける

■ 電話帳 51

衛星端末で使用できる電話帳について、電話帳に登録する、グループ名を変更する、
電話帳から電話をかける、電話帳を修正する、電話帳を削除する、電話帳に制限動作を設定する、
電話帳の登録件数を確認する、少ないキー操作で電話をかける

■ 音／画面／照明設定 57

着信音の音量を設定する、キー確認音を設定する、
通話が途切れそうなときにアラームで知らせる、ディスプレイとキーの照明を設定する、
時計の表示を設定する

■ あんしん設定 61

衛星ハンドセットで利用する暗証番号、端末暗証番号を変更する、キーの操作を制限する、
ダイヤル／指定した電話帳以外からの発信を禁止する、
指定した電話帳からの着信を拒否／許可する、その他の「あんしん設定」について、
電源を切るときに発信履歴と着信履歴を保存するかを設定する、各種機能の設定状況を確認する、
各種機能の設定をリセットする、登録データを一括して削除する

■ 便利な機能 67

通話時間・料金を確認する、パケット通信量・64Kデータ通信時間を確認する、
利用するデータ通信サービスを設定する

■ 文字入力 71

文字入力について、文字を入力する

■ ネットワークサービス 75

転送でんわサービスを利用する、留守番電話サービスを利用する、
迷惑電話ストップサービスを利用する、遠隔操作を設定する、
番号通知お願いサービスを利用する、ガイダンスを日本語と英語で切り替える

■ データ通信／ FAX 通信 79

データ通信／ FAX 通信について、ご利用になる前に、データ通信／ FAX 通信の流れ、
CD-ROMについて

■ 付録／困ったときには 85

メニュー一覧、ダイヤルキーの文字割り当て一覧、衛星端末から利用できるサービス、
オプション・関連機器のご紹介、故障かな？と思ったら、こんな表示が出たら、
保証とアフターサービス、主な仕様、輸出管理規制、知的財産権

■ 索引 95

索引

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- **次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。**

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合、および、物的損害の発生が想定される」内容です。

- **次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。**

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

「安全上のご注意」は、下記の７項目に分けて説明しています。

- 衛星端末、衛星ハンドセット、電池パック、アダプタ、FOMAカードの取り扱いについて（共通）→P6
- 衛星端末の取り扱いについて→P7
- 衛星ハンドセットの取り扱いについて→P9
- 電池パックの取り扱いについて→P9
- アダプタの取り扱いについて→P10
- FOMAカードの取り扱いについて→P11
- 医療電気機器近くでの取り扱いについて→P12

衛星端末、衛星ハンドセット、電池パック、アダプタ、FOMAカードの取り扱いについて（共通）

⚠危険

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

衛星端末に使用する電池パックおよびアダプタは、NTTドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠警告

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠警告

禁止

端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

端子に手や指など、身体の一部を接触させないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどの原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に衛星端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
ガスに引火する恐れがあります。

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。
- **電源プラグやシガーライタープラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。**
- **衛星端末の電源を切る。**
- **電池パックを衛星端末から取り外す。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

持ち運ぶときは、落下しないようご注意ください。
けがや故障の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

⚠注意

指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

衛星端末の取り扱いについて

⚠警告

禁止

衛星端末内のFOMAカード取り付け口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

通話中はアンテナ前面に近づかないでください。
通話中はアンテナ前面より電磁波が放射されますので、通信中はアンテナ前面より1m以上離れてください。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、衛星端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、衛星端末の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

つづく▶

⚠注意

禁止

衛星端末を振り回さないでください。
本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

禁止

スタンドなどが破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

危険防止のため保護機構が組み込まれています。保護機構に損傷を与える可能性のある静電気が発生する場所で使用しないでください。
保護機構が破壊され発火、破裂、発熱の原因となります。

指示

スタンドなどを開閉する際は、指などを挟まないようご注意ください。
けがなどの事故の原因となります。

指示

電池パックを取り付ける際は、指などを挟まないようご注意ください。
けがなどの事故の原因となります。

指示

使用中は衛星端末前面・背面を触らないでください。
熱くなりますので、使用直後は素手で触らないようにしてください。やけどの原因となります。

指示

外部アンテナ端子を取り外す際は、金具にご注意ください。
けがなどの事故の原因となります。

⚠注意

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

使用箇所	使用材料	表面処理
アンテナ面	ポリカーボネート樹脂	塗装
本体側面、背面	マグネシウム合金	塗装
電源スイッチ	シリコーン	なし
スタンド	ポリカーボネート、ポリアセタール	なし
衛星ハンドセット端子	ポリブチレンテレフタレート樹脂、ポリカーボネート樹脂	なし
電源端子	黄銅	パラジウムメッキ
電池パック端子	銅合金	金メッキ
外部アンテナ端子	黄銅	ニッケルメッキ、金メッキ
外部接続端子	銅合金	すずメッキ
カバー（FOMAカードロック）	ポリアミド樹脂	なし
衛星ハンドセット端子カバー、外部接続端子カバー、電源端子カバー、外部アンテナ端子カバー、FOMAカード取り付け口カバー、電池パック接続コネクタ部パッキン、キャップ（本体保護用）	エラストマー	なし
電池パック取り外しボタン	ポリアセタール樹脂	なし
電池パックコネクタ	耐熱性熱可塑性樹脂	なし
電池パック受け部クッション	ウレタンフォーム	なし
ネジ（ケース固定用）	鉄	三価クロメート
ネジ（本体背面中央）	ステンレス	不動態化処理
銘版シール	ポリエチレンテレフタレート	なし

衛星ハンドセットの取り扱いについて

⚠警告

禁止

コネクタ、イヤホンマイク端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、衛星ハンドセットの電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。

指示

スピーカー受話に設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ず衛星ハンドセットを耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどを衛星ハンドセットに装着し、使用する場合は、適度なボリュームに調節してください。
音量が大きすぎると難聴の原因となります。また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信音量の設定に注意してください。
心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、衛星ハンドセットの電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

⚠警告

指示

万が一、ディスプレイ部を破損した際には、割れたガラスや露出した衛星ハンドセットの内部にご注意ください。
ディスプレイ部の表面には、プラスチックパネルを使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

⚠注意

禁止

コードなどを持って衛星ハンドセットを振り回さないでください。
本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

指示

長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
長時間使用すると衛星ハンドセットの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

電池パックの取り扱いについて

■ 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion 10	リチウムイオン電池

つづく▶

⚠危険

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

電池パックを衛星端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

火の中に投下しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

電池パック充電器を介さずに直接電源コンセントや自動車のシガーライターソケットに電池パックの端子を接触させないでください。
感電したり、高い電圧が加えられることによって過大な電流が流れ、電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

指示

電池パックは当社指定の電池パック充電器を使用し、当社指定の充電条件を守ってください。
その他の充電条件（指定以外の温度、指定以外の高い電圧／大きな電流、または改造した充電器など）で充電しますと、発火、破裂、発熱の原因となります。

⚠警告

禁止

落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液のの原因となります。

⚠警告

指示

電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

指示

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

⚠注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

禁止

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

危険防止のため保護機構が組み込まれています。保護機構に損傷を与える可能性のある静電気が発生する場所で使用しないでください。
保護機構が破壊され発火、破裂、発熱の原因となります。

指示

電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

アダプタの取り扱いについて

⚠警告

禁止

アダプタのケーブルが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

⚠警告

禁止

アダプタは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。
感電の原因となります。

禁止

コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で電源端子をショートさせないでください。また、電源端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

アダプタのケーブルの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

コンセントに電源プラグを抜き差しするときは、金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタ、コンセントやシガーライターソケットに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V・24V
（マイナスアース車専用）

指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
火災、やけど、感電の原因となります。
指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指示

電源プラグやシガーライタープラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

⚠警告

指示

電源プラグやシガーライタープラグをコンセントやシガーライターソケットに差し込むときは、確実に差し込んでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

電源プラグやシガーライタープラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのケーブルを無理に引っ張らず、電源プラグやシガーライタープラグを持って抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグやシガーライタープラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグやシガーライタープラグを抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグやシガーライタープラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

FOMAカードの取り扱いについて

⚠注意

指示

FOMAカードを取り外す際は切断面にご注意ください。
けがの原因となります。

医療電気機器近くでの取り扱いについて

■本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

⚠警告

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には衛星端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、衛星端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、衛星端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、衛星端末の電源を切ってください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部からアンテナ前面は1.3m以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- 水をかけないでください。
  衛星端末、電池パック、アダプタ、FOMAカードは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
  ・乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
  ・ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
  ・アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
  急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- 衛星端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。
  多くのものが詰まった荷物の中に入れたりすると内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。
  また、外部接続機器を端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
- 衛星端末、関連機器に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

衛星端末についてのお願い

- 極端な高温、低温は避けてください。
  温度は-20℃～60℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- 端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
  故障、破損の原因となります。
- アダプタのケーブルなどを挟んだまま、スタンドを閉じないでください。
  故障、破損の原因となります。
- 使用中および充電中、衛星端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

● 通常は端子カバーを閉じた状態でご使用ください。
ほこり、水などが入り故障の原因となります。
● 磁気カードなどを衛星端末に近づけないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
● 衛星端末から電池パックなどを取り付け／取り外しするときは、必ず、電源が切れているか確認してください。
電源を入れたまま取り付け／取り外しすると故障の原因となります。
● 衛星端末の上に重いものをのせないでください。
故障の原因となります。
● FOMAカードのロックを取り外したままで使用しないでください。
● 衛星端末の電源を入れたままFOMAカードを取り外さないでください。
● 電池パックを取り付けるときは、落下しないようにしっかり取り付けてください。
● スタンドを開閉するときは、無理に開いたり、閉じたりしないでください。
故障、破損の原因となります。
● 衛星端末の端子カバーを、無理に取り付けたり、取り外したりしないでください。
● 端子にケーブルを取り付ける、または端子からケーブルを取り外す際は、衛星端末の電源を切り、必要以上に力を入れないでください。
故障、破損の原因となります。
● 無線LAN、レーダ、無線機、電子レンジなど電磁波を放射する機器の近くで衛星端末を使用すると通信に影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所で衛星端末をご使用ください。

衛星ハンドセットについてのお願い

● 衛星ハンドセットに無理な力がかからないように使用してください。
多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。
また、外部接続機器をイヤホンマイク端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
● ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。
傷つくことがあり故障、破損の原因となります。
● 極端な高温、低温は避けてください。
温度は-20℃～60℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
● 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
● お客様ご自身で衛星ハンドセットに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
● 衛星ハンドセットを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障、破損の原因となります。
● イヤホンマイク端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
故障、破損の原因となります。
● 使用中、衛星ハンドセットは温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
● 通常はイヤホンマイク端子カバーを閉じた状態でご使用ください。
ほこり、水などが入り故障の原因となります。
● イヤホンマイク端子カバーを、無理に取り付けたり、取り外したりしないでください。
● 衛星端末の電源を入れたまま、衛星ハンドセットを取り付けたり、取り外したりしないでください。
データの消失の原因となります。
● 衛星ハンドセットや衛星ハンドセットのコードを強く引っ張らないでください。
コネクタが衛星ハンドセット端子から抜けたり、断線の原因となったりします。
● 衛星ハンドセットは、JIS 保護等級４級の生活防水となっております。
● イヤホンマイク端子カバーを外した状態やイヤホンマイクなどを接続した状態での使用は、生活防水となりません。
● 水や海水の中に入れたり、シャワーなどを直接かけたりしないでください。
水が入り故障の原因となります。
● 誤って濡れた場合には、取扱説明書裏面の「ワイドスターサービスに関するお問い合わせ先」までご相談ください。

電池パックについてのお願い

- 電池パックは消耗品です。
  使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- 電池パックのご使用温度範囲は次のとおりです。
  この周囲温度範囲以外での使用はしないでください。
  充電：10℃～40℃
  放電（機器使用時）：-20℃～+60℃
- 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
- 電池パックを長期保管される場合は、次の点にご注意ください。
  ・満充電状態（充電完了後すぐの状態）で保管しないでください。
  ・電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）で保管しないでください。
  電池パックの性能や寿命を低下させる原因となり、ご使用できなくなる場合があります。
  長期間ご使用にならなかった電池パックは十分に充電されないことがあります。
  電池パックは長期間使用しない場合でも、6カ月に1度は電池残量表示のランプが2つ以上点灯していることを確認してください。ランプが2つ以上点灯していない場合は、ランプが2つ以上点灯するまで充電してください。
- 長時間使用しない場合は、衛星端末や電池パック充電器から外して、乾燥した冷暗所に保管してください。
  性能や寿命を低下させたり漏液やさびの原因になったりすることがあります。衛星端末や電池パック充電器から外し、乾燥した冷暗所に保管してください。

アダプタについてのお願い

- 使用および充電は、適正な周囲温度の場所で行ってください。
  使用：-20℃～60℃
  充電：10℃～40℃
- 次のような場所では、使用しないでください。
  ・湿気、ほこり、振動の多い場所
  ・一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 使用中および充電中、アダプタは温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- DCアダプタは、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。また、DCアダプタを使用して充電する場合も、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
  自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、電源端子を変形させないでください。
  故障の原因となります。

FOMAカードについてのお願い

- 衛星端末で使用するFOMAカードは専用の契約が必要です。
- 衛星端末専用の契約をしているFOMAカードは、FOMA 端末ではご使用になれません。
- 衛星端末では「FOMAカード（青色）」と「FOMAカード（緑色）」はご使用になれません。
- FOMAカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどにFOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC 部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- 環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
  データの消失、故障の原因となります。
- FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  故障の原因となります。
- FOMAカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
  故障の原因となります。
- FOMAカードにラベルやシールなどを貼った状態で、衛星端末に取り付けないでください。
  故障の原因となります。

注意

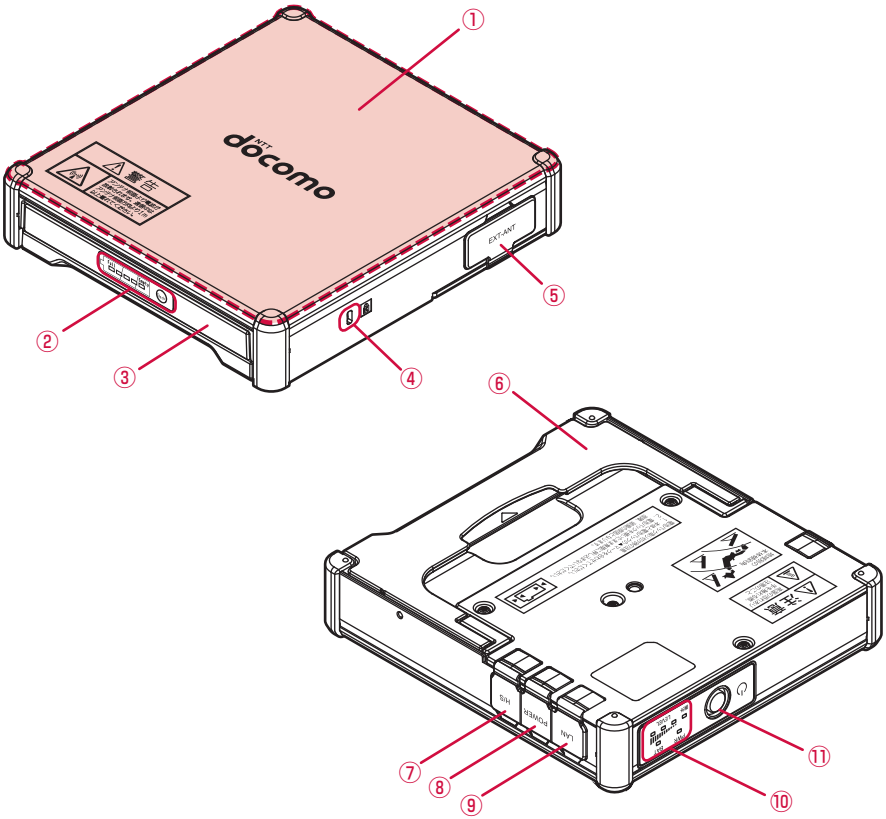
- 改造された衛星端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。
  衛星端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク㊣」が衛星端末の銘版シールに表示されております。
  衛星端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。
  技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。
  運転中の衛星端末を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
  ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。

ご使用前の確認

■ 各部の名称と機能 16
■ アンテナ面を衛星の方向に向ける 18
■ ランプの見かた 19
■ ディスプレイの見かた 20
■ 機能を選択する 21
■ FOMAカードを使う 23
■ 電池パックの取り付けかた／取り外しかた 24
■ 充電する 27
■ 電池残量の確認のしかた 電池残量 32
■ 衛星ハンドセットの取り付けかた／取り外しかた 34
■ 衛星屋外設置アンテナの取り付けかた 34
■ 電源を入れる／切る 35
■ 日付・時刻を合わせる 日付時刻設定 36
■ 電話をかけるときに通知／非通知を設定する 発信者番号通知 36
■ 自分の電話番号を確認する 自局番号表示 37
■ 契約者情報を確認する 契約者情報確認 37

各部の名称と機能

衛星端末



① **アンテナ面**
- 電波を受ける／送るためのアンテナを内蔵 →P18

② **電池残量表示**
- ボタンを押して電池残量を確認→P32

③ **電池パック**

④ **盗難防止用穴**
- セキュリティケーブル（市販品）を取り付ける

⑤ **外部アンテナ端子**
- 外部アンテナを接続する端子→P34

⑥ **スタンド**
- 角度を調整して衛星端末を固定→P18

⑦ **衛星ハンドセット端子**
- 衛星ハンドセットなどを接続する端子→P34

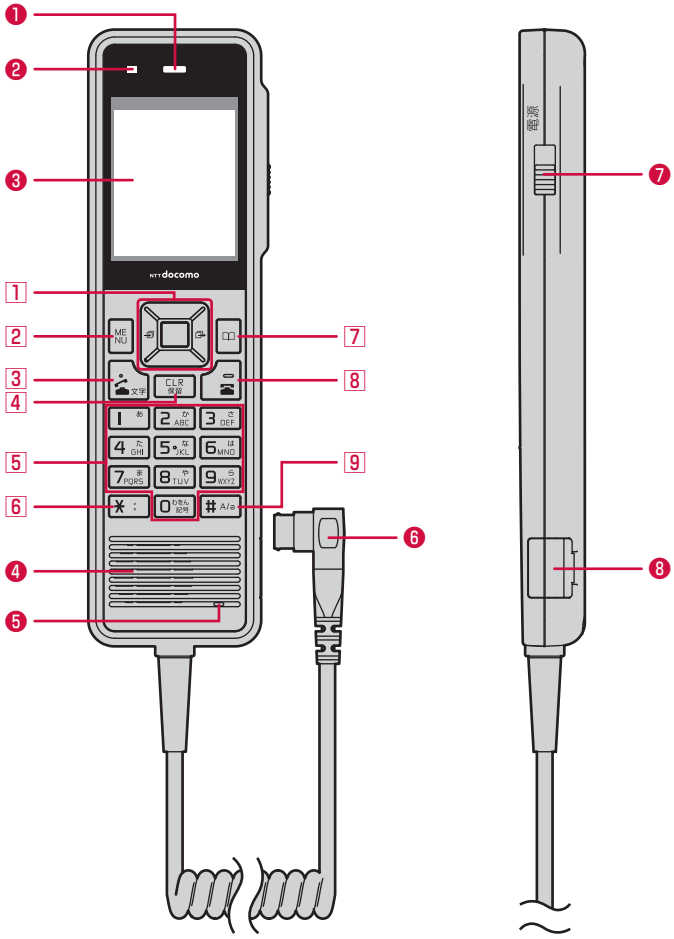
⑧ **電源端子**
- アダプタを接続する端子→P29

⑨ **外部接続端子**
- 衛星FAXアダプタ　01（別売）などを接続する端子→P80

⑩ **ランプ**
- 受信レベル（圏外）を表示→P19
- 充電の状態を表示→P19

⑪ **電源スイッチ**
- 電源を入れる／切る→P35

衛星ハンドセット



各部の機能

❶ **受話口**
- 相手の声をここから聞く

❷ **着信ランプ**
- 電話の着信時に点滅

❸ **ディスプレイ→P20**

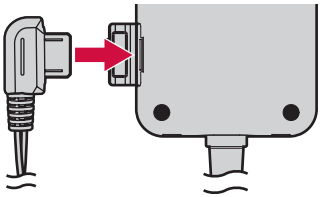
❹ **スピーカー**
- 着信音や、スピーカー受話切替設定中の相手の声などをここから聞く

❺ **送話口**
- 自分の声をここから送る
  ※通話中にふさがないでください。

❻ **コネクタ**
- 衛星端末、衛星ハンドセット置台　01（別売）に接続

❼ **電源スイッチ**
- 電源を入れる／切る

❽ **イヤホンマイク端子**
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続する端子



つづく▶

キーの機能

1 **マルチカーソルキー**
決定キー
- 操作の実行

↑キー
- 音量調整、上方向のカーソル移動

↓キー
- 音量調整、下方向のカーソル移動

←キー
- 着信履歴の表示
- 画面の切り替え、左方向へのカーソル移動

→キー
- 発信履歴の表示
- 画面の切り替え、右方向へのカーソル移動

2 **メニューキー**
- メニューの表示

3 **電話開始／文字入力モード切り替えキー**
- 電話をかける／受ける
- 文字入力モードの切り替え

4 **CLR／保留キー**
- 文字の消去や１つ前の画面に戻る
- 応答保留／通話保留

5 **ダイヤルキー**
- 文字入力
- メニューの項目選択

6 **＊／゛゜キー**
- 「＊」や「゛」「゜」などの入力

7 **電話帳キー**
- 電話帳の表示

8 **終了キー**
- 応答保留、通話／操作中の機能の終了

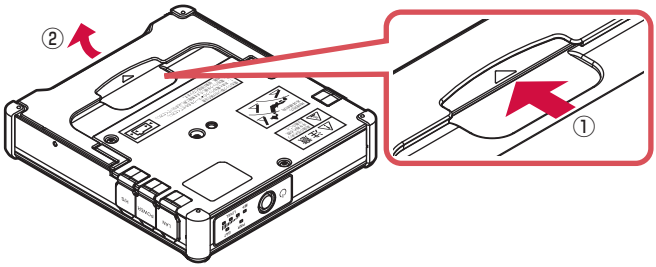
9 **＃／A/aキー**
- 「＃」の入力、大文字／小文字切り替え

アンテナ面を衛星の方向に向ける

- スタンドを調整するときは、平らなところに置いて行ってください。
- アンテナ面を下向きにし、地域別の本体傾斜角に合わせてスタンドの角度を調整してください。

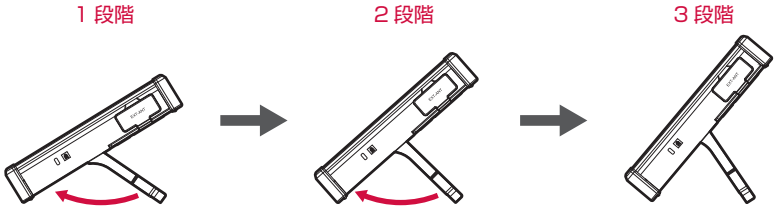
1 スタンドの「△」部分を①の方向に押しながら、②の方向に動かなくなるまで持ち上げる

・止まるまでしっかり持ち上げてください。



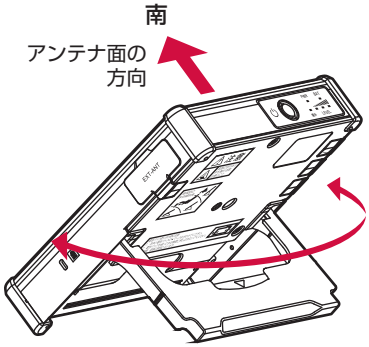
2 スタンドの角度を戻しながら調整する

・スタンドは、３段階に調整できます。地域別の傾斜角に合わせてスタンドを調整してください。
・「カチッ」と音がするところで止めてください。



3 アンテナ面の方向を調整する

アンテナ面を南に向けて、圏外／ LEVELランプの受信レベルの表示がなるべく強いレベルを指すように、アンテナの方向を調整してください。→P19

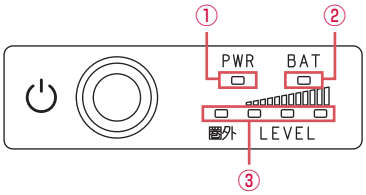


お知らせ

- 衛星端末は衛星の電波を受信しますが、衛星を見渡せない場所（建物や街路樹のかげなど）ではご使用になれません。
- スタンドを持って無理に動かそうとすると破損するおそれがありますので、ご注意ください。

ランプの見かた

衛星端末にあるランプで現在の状態を確認できます。



① PWRランプ→P28
電源の状態を確認できます。
- ACアダプタ（別売）またはDCアダプタ（別売）を使用しているときは、緑色で点灯します。
- 赤色で点灯したときは、正常に動作していません。アダプタと電池パックを取り外し、再度取り付けてください。

② BATランプ→P28
電池パックの状態を確認できます。
- 充電中に緑色で点灯します。

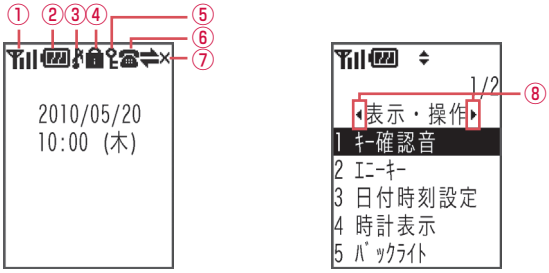
③ 圏外／LEVELランプ

・電波の受信レベルの目安が確認できます。

受信レベル表示	圏外 LEVEL	圏外 LEVEL	圏外 LEVEL	圏外 LEVEL（点滅）	圏外 LEVEL
状態	強 ◀――――――――――――――――――――▶ 弱				サービスエリア外や電波の届かない場所

ディスプレイの見かた

衛星ハンドセットのディスプレイに表示されるアイコンで現在の状態を確認できます。



① 圏外：受信レベルアイコン→P35

圏外：圏外表示→P35

・受信レベルのアイコンで、電波の受信レベルの目安が確認できます。

受信レベル表示					圏外
状態	強 ◀――――▶ 弱				サービスエリア外や電波の届かない場所

②※1 ：電池アイコン→P33

③ ：着信音量消去設定中→P58

④※2 ：ダイヤルロック設定中→P62

：[メール]でメニュー・項目選択

⑤ ：シークレットモード中→P54

⑥ ：留守番電話サービスの伝言メッセージあり→P76

⑦ ：データ通信不可中→P82

⑧ ：[メール]でメニュー・項目選択

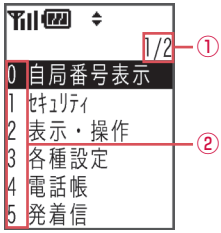
※1 ACアダプタ（別売）またはDCアダプタ（別売）を使用しているときは、表示されません。

※2 現在優先度の高いものが1つ表示されます。優先度の高い順に上から掲載しています。

お知らせ

●表示中の機能によっては、アイコンの表示が異なったり、一部またはすべてのアイコンが表示されないことがあります。

一覧画面の見かた



① 一覧が複数ページにわたる場合、表示中のページ番号と総ページ数が表示されます。
② 表示されている数字に対応するダイヤルキーや、次のキーを押すと項目を選択できます。
＊：[*]　＃：[#]　電話帳：[▷]　保留：[CLR]　終話：[⏻]

機能を選択する

機能を選択する

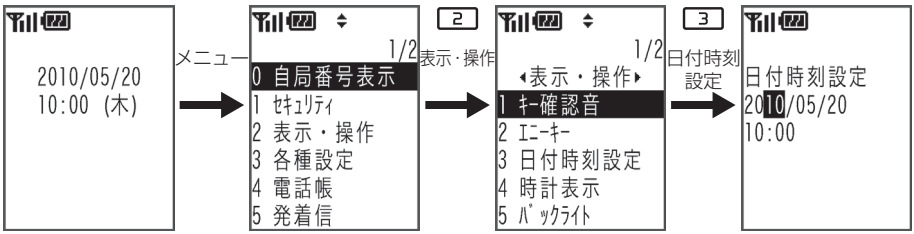
待受中に[メニュー]を押し、表示されるメニューから各種機能を選択して実行します。
メニュー項目に対応したキーでメニューを選択する方法（ショートカット操作）と、マルチカーソルキーでメニュー項目を選択する方法があります。
• ダイヤルロックやFOMAカード未挿入などの理由で機能が実行できない場合は、選択できません。

ダイヤルキーでメニューを選択する（ショートカット操作）

メニュー項目に番号が割り当てられている場合は、対応するダイヤルキー（[1]～[9]、[0]）や[*]、[#]を押してメニュー項目を選択できます。
• 目的のメニュー項目に表示されている番号を押してください。→P86

例「日付時刻設定」を選択する

1 メニュー▶[2]表示・操作▶[3]日付時刻設定



マルチカーソルキーでメニューを選択する

で項目にカーソルを合わせて●を押して選択できます。
カーソルを移動するとカーソル位置の項目の色が反転します。

例「日付時刻設定」を選択する

1 メニュー▶「表示・操作」にカーソル▶●

2 「日付時刻設定」にカーソル▶●

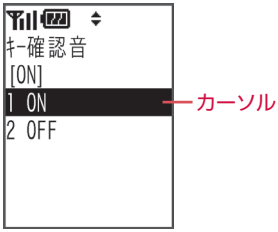
待受画面や１つ前のメニューに戻すには

メニューを選択した後で待受画面や１つ前のメニューに戻すには、次のキーを押します。
：待受画面に戻ります。
CLR：１つ前のメニューに戻ります。

各項目を操作する

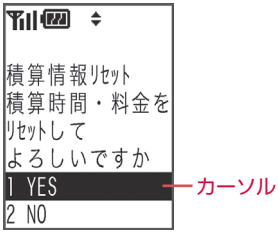
項目の選択

数字や「＊」「＃」が表示されている場合は対応するキーを押します。で項目にカーソルを合わせて●を押しても選択できます。
• [　]に現在の設定値が表示されます。



確認画面の操作方法

登録内容の削除や設定などの操作中に機能実行の確認画面が表示された場合は、対応するダイヤルキーを押します。で「YES」または「NO」にカーソルを合わせて●を押しても選択できます。



FOMAカードを使う

FOMAカードは、お客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。
- FOMAカードを正しく取り付けていない場合や、FOMAカードに異常がある場合は、衛星端末はご利用になれません。
- FOMAカードを正しく取り付けていない場合は、衛星ハンドセットのメニューは表示されません。

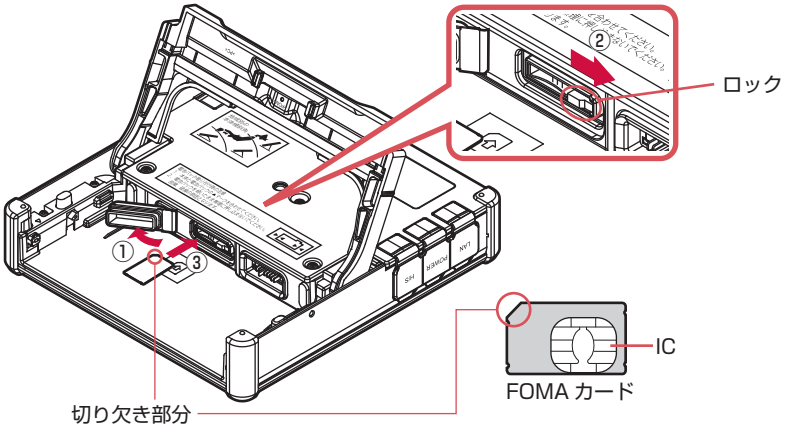
FOMAカードの種類

- 衛星端末で使用するFOMAカードは専用の契約が必要です。
- 衛星端末専用の契約をしているFOMAカードは、FOMA 端末ではご使用になれません。
- 衛星端末では「FOMAカード(青色)」と「FOMAカード(緑色)」はご使用になれません。

取り付けかた／取り外しかた

- FOMAカードの取り付け／取り外しは、衛星端末を安定した場所に置いて行ってください。
- 電源を切ってからアンテナ面を下向きにし、電池パックを取り外してから行ってください。→P26
- FOMAカードを取り付け／取り外しする際には、IC 部分に触れたり、傷をつけたりしないようにご注意ください。

取り付けかた



1 FOMAカード取り付け口のカバーを①の方向に開く

2 ロックを②の方向にスライドする

・「カチッ」と音がするまでしっかりとロックを右にスライドしてください。

3 FOMAカードの金色のIC 面を下にして、切り欠きの向きを合わせて③の方向に差し込む

・FOMAカードを水平に差し込んでください。
・「カチッ」と音がするまでしっかりと奥まで差し込んでください。
・無理に取り付けるとFOMAカードが破損する場合がありますので、ご注意ください。

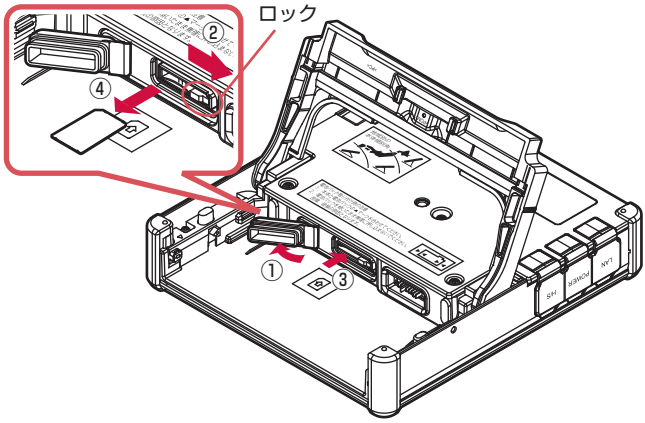
4 ロックを左にスライドする

・「カチッ」と音がするまでしっかりとロックを左にスライドしてください。

つづく▶

5 FOMAカード取り付け口のカバーを閉める

取り外しかた



1 FOMAカード取り付け口のカバーを①の方向に開く

2 ロックを②の方向にスライドする

・「カチッ」と音がするまでしっかりとロックを右にスライドしてください。

3 FOMAカードを③の方向に軽く押して取り外す（④）

・FOMAカードを水平に引き出してください。

お知らせ

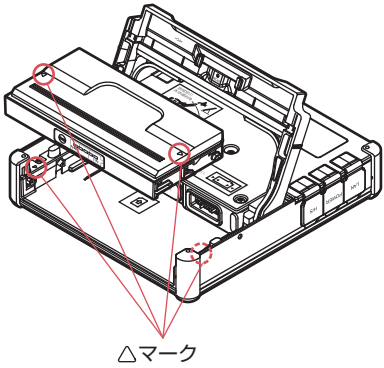
●無理に取り付け、取り外しするとFOMAカードが破損する場合がありますので、ご注意ください。
●FOMAカードの詳しい取り扱いについては、FOMAカードの取扱説明書をご覧ください。
●取り外したFOMAカードは、無くさないようにご注意ください。

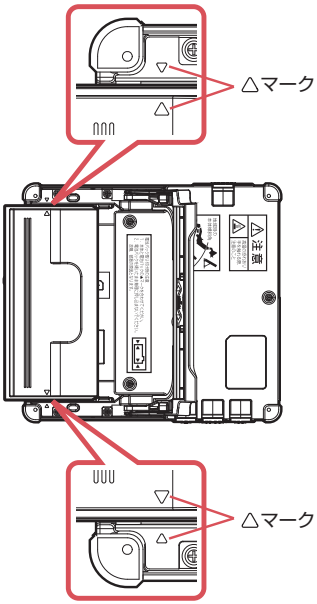
電池パックの取り付けかた／取り外しかた

電池パックは、衛星端末専用の衛星電池パック　０１をご利用ください。
- 電池パックの取り付け／取り外しは、衛星端末を安定した場所に置いて行ってください。
- アダプタを使用していない状態で行ってください。
- アンテナ面を下向きにし、スタンドを１段階まで上げてから行ってください。

取り付けかた

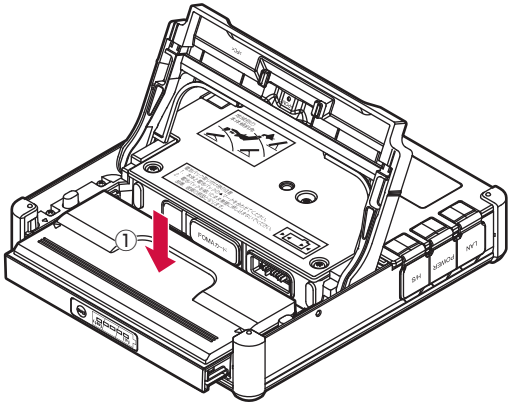
1 電池パックの印字面を下にして、電池パックの△マークと、衛星端末の△マークの位置を合わせて配置する





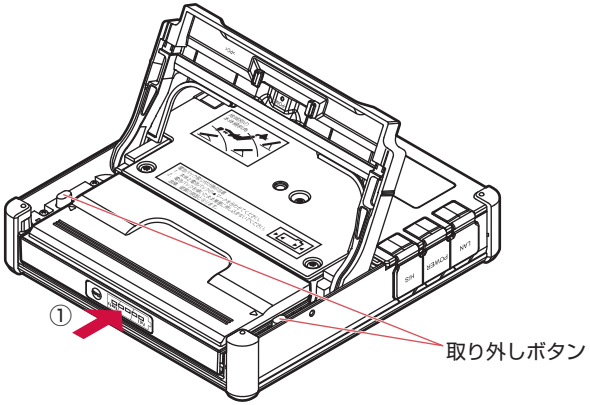
2 電池パックと衛星端末の△マークの位置を合わせたまま、電池パックを衛星端末の上に置く(①)

・電池パックの印字面が下向きになるように置いてください。
・電池パックと衛星端末の△マークの位置がずれていると、電池パックを衛星端末の上に置くことができません。



3 **電池パックをスライドし、取り外しボタン（2箇所）が「カチッ」と音がするまでしっかりと押し込む（①）**

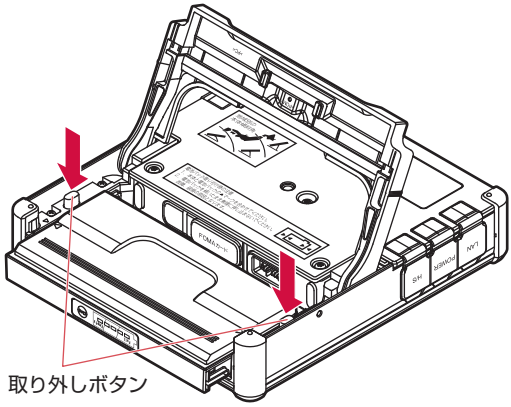
・電池パックを傾いたまま無理に押し込まないでください。故障、破損の原因となります。



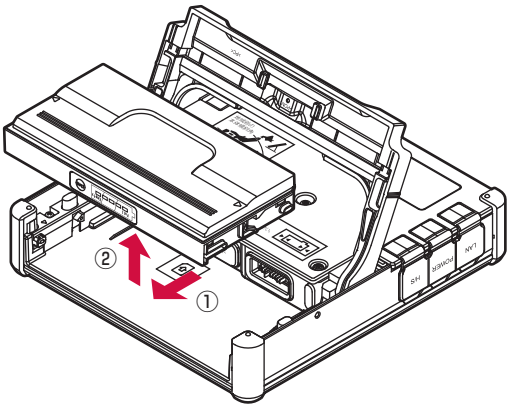
取り外しかた

1 **取り外しボタン（2箇所）を押す**

・電池パックがスライドするまで、取り外しボタン（2箇所）を押してください。



2 **電池パックの△マークと、衛星端末の△マークの位置が合うまで電池パックを①の方向に水平にスライドさせ、電池パックを②の方向に持ち上げて取り外す**



お知らせ

- 電池パックを取り付けずに、ACアダプタ（別売）またはDCアダプタ（別売）を使用して衛星端末を利用できます。
- 無理に取り付け、取り外しすると衛星端末と電池パックの接続端子が破損する場合がありますので、ご注意ください。
- スタンドを無理に動かそうとするとスタンドが破損するおそれがありますので、ご注意ください。

充電する

お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されていません。必ず専用の衛星ACアダプタ　01（別売）、衛星DCアダプタ　01（別売）または衛星電池パック充電器　01（別売）で充電してからお使いください。

- 電池パックは、必ず衛星電池パック　01をご利用ください。

充電時のご注意

- 電池残量が十分ある状態で、頻繁に充電をくり返すと、電池の寿命が短くなる場合がありますので、ある程度使用してから（電池残量が減ってからなど）充電することをおすすめします。
- 電池パックの電池残量表示のランプがすべて点灯、または衛星ハンドセットのディスプレイに表示している電池アイコンが[FULL]から、BATランプが消灯するまでに時間がかかる場合がありますが異常ではありません。
- 満充電後、電池残量が低下すると自動的に再充電します。

充電時間の目安とランプ表示について

衛星端末の電源を切り、電池パックを電池残量のない状態から充電したときの充電時間の目安は次のとおりです。

衛星ACアダプタ　01	約270分
衛星DCアダプタ　01	約270分

- 充電中はBATランプが緑色で点灯し、充電が完了すると消えます。
- BATランプが赤色で点灯したときは電池パックを取り外し、再度取り付けてください。
- 電池の温度が充電できない温度になった場合、充電完了前でも自動的に充電を停止する場合があります。充電待機中は、BATランプが緑色で点滅します。充電ができる温度になると自動的に充電を再開します。

状態	衛星端末		衛星ハンドセット	意味
	PWRランプ	BATランプ	電池アイコン	
充電中	点灯（緑）	点灯（緑）		正常に充電中
充電完了	点灯（緑）	消灯		充電完了
充電待機	点灯（緑）	点滅（緑）		充電待機中 ・充電ができる温度（10℃～40℃）になると自動的に充電を再開します。
電池パックエラー	※1	点灯（赤）		電池パックにエラーが発生 ・電池パックを取り外し、再度取り付けてください。
衛星端末電源エラー	点灯（赤）	消灯		衛星端末の電源にエラーが発生 ・アダプタを取り外し、再度取り付けてください。
電池パック劣化（50%）	※1	ゆっくり点滅（赤）		電池パックの充電容量がお買い上げ時の50%まで劣化 ・指定の電池パックをお買い求めください。
電池パック劣化（30%）	※1	早く点滅（赤）		電池パックの充電容量がお買い上げ時の30%まで劣化 ・指定の電池パックをお買い求めください。

※1　アダプタ接続の有無により、PWRランプが緑色に点灯または消灯します。

十分に充電したときの利用可能時間（目安）

連続通話時間	約2.2時間
連続待受時間	約26時間

- 連続通話時間は、電波を正常に送受信できる状態で使用できる時間の目安であり、連続待受時間は、電波を正常に受信できる状態で移動した場合の目安です。通話をしなくてもデータ通信などによって、通話（通信）・待受時間は短くなります。
- 実際のご利用時間は、待受と通話の組み合わせとなり通話時間が長くなると待受時間が短くなります。
- 電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、通話（通信）・待受時間が半分程度になる場合があります。

電池パックの寿命

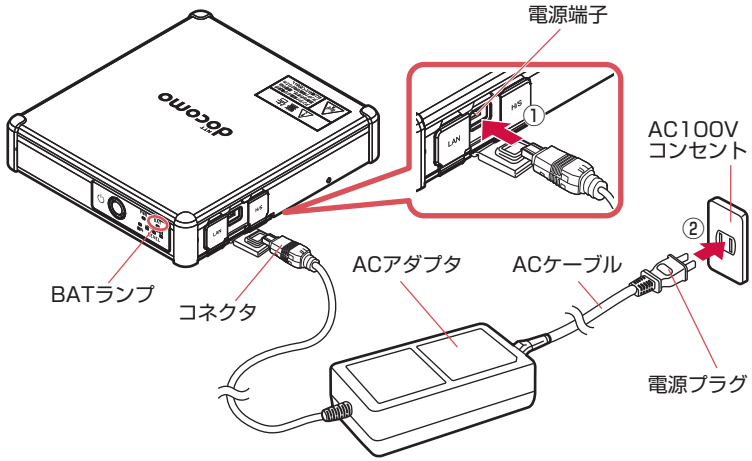
- 電池パックは消耗品です。充電をくり返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいています。また、BATランプが赤色で点滅している場合は電池パックの寿命です。早めに交換することをおすすめします。

Li-ion 10

ACアダプタを使って充電する

衛星ACアダプタ　01（別売）はAC100Vのみに対応しています。
必ず衛星ACアダプタ　01の取扱説明書をご覧ください。

- ACアダプタは、しっかり差し込んで使用してください。緩みがあると接触が悪くなり、正常に使用できなくなる場合があります。
- 充電時は、衛星端末の周りに物などを置かないでください。衛星端末に傷を付けるおそれがあります。



1 衛星端末の電源端子カバーを開く

・電源端子カバーは、無理に引っ張らないでください。破損することがあります。

2 ACアダプタのコネクタを矢印の表記面を下にして電源端子へ水平に差し込む（①）

・コネクタの向き（裏表）をよく確かめ、衛星端末に水平になるようにして、「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。
・無理やり差し込んだり抜いたりすると、電源端子やコネクタが破損や故障する場合がありますので、ご注意ください。

3 ACアダプタの電源プラグをAC100Vコンセントに差し込む（②）

・衛星端末のBATランプが緑色に点灯したことを、確認してください。

4 充電が完了したらACアダプタのコネクタを取り外す

衛星端末のBATランプが消灯したら、充電が完了です。
・コネクタを取り外すときは、コネクタを水平に抜いてください。
・長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

自動車の中で充電する

専用の衛星DCアダプタ　01（別売）を使用すると、自動車の中でも充電できます。

- 必ず衛星DCアダプタ　01の取扱説明書をご覧ください。
- 衛星DCアダプタ　01はマイナスアース車専用です（DC12V・24V両用）。
- 自動車のエンジンを切ったままで使用しないでください。自動車のバッテリーを消耗させる場合があります。
- 衛星DCアダプタ　01のヒューズ（10A）は消耗品ですので、交換の際はお近くのカー用品店などでお買い求めください。

電池パック充電器を使って充電する

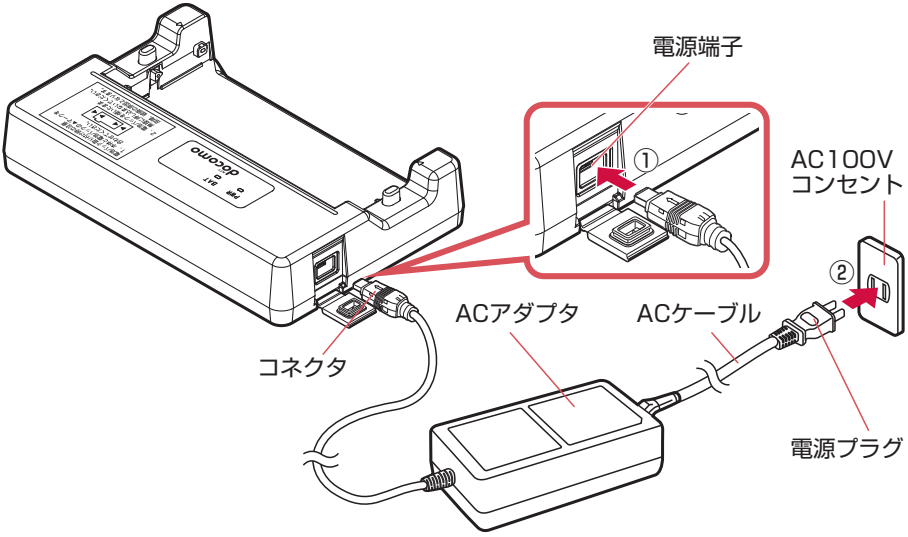
必ず衛星電池パック充電器　０１（別売）の取扱説明書をご覧ください。
- イメージは衛星ACアダプタ　０１の取り付け例です。
- 衛星DCアダプタ　０１（別売）と組み合わせて充電することもできます。接続方法や使用方法についてはDCアダプタの取扱説明書をご覧ください。

1 電池パック充電器の電源端子カバーを開く

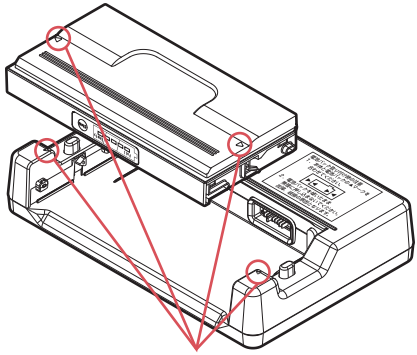
・電源端子カバーは、無理に引っ張らないでください。破損することがあります。

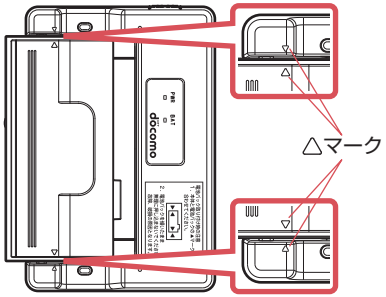
2 ACアダプタのコネクタを矢印の表記面を上にして電池パック充電器の電源端子へ水平に差し込み（①）、ACアダプタの電源プラグをAC100Vコンセントに差し込む（②）

・コネクタの向き（裏表）をよく確かめ、電池パック充電器に水平になるようにして、「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。
・無理やり差し込んだり抜いたりすると、電源端子やコネクタが破損や故障する場合がありますので、ご注意ください。



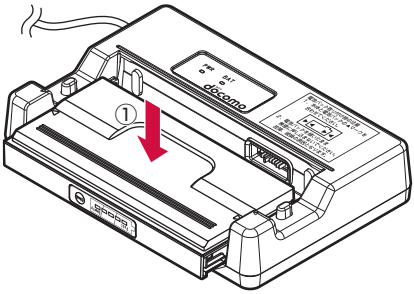
3 電池パックの印字面を下にして、電池パックの△マークと、電池パック充電器の△マークの位置を合わせて配置する





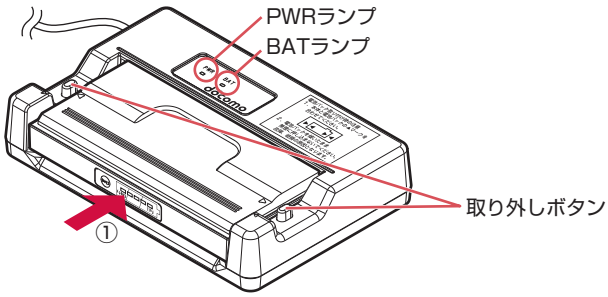
4 電池パックと電池パック充電器の△マークの位置を合わせたまま、電池パックを電池パック充電器の上に置く（①）

・電池パックの印字面が下向きになるように置いてください。
・電池パックと電池パック充電器の△マークの位置がずれていると、電池パックを電池パック充電器の上に置くことができません。



5 電池パックをスライドし、取り外しボタン（2箇所）が「カチッ」と音がするまでしっかりと押し込む（①）

・電池パックを傾いたまま無理に押し込まないでください。故障、破損の原因となります。
・PWRランプとBATランプが緑色に点灯したことを確認してください。

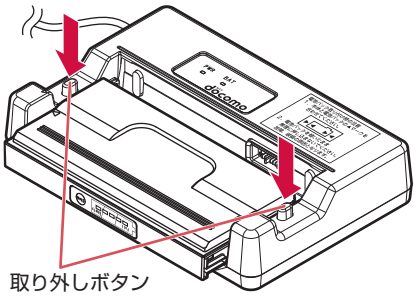


充電が完了したら

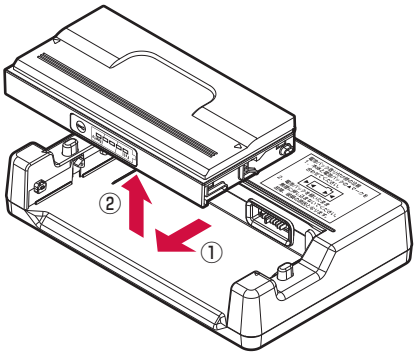
BATランプが消灯したら、充電が完了です。

1 取り外しボタン（2箇所）を押す

・電池パックがスライドするまで、取り外しボタン（2箇所）を押してください。



2 電池パックの△マークと、電池パック充電器の△マークの位置が合うまで電池パックを①の方向に水平にスライドさせ、電池パックを②の方向に持ち上げて取り外す



電池残量の確認のしかた

電池残量

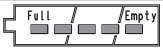
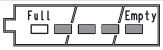
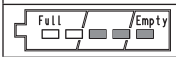
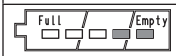
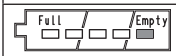
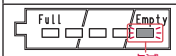
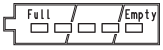
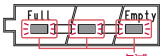
電池パックで確認する

電池残量表示ランプの点灯または点滅で確認できます。

- ランプで表示される残量は目安です。
- 使用状況によっては、電池残量が大きく変動することがあります。
- 充電完了後でも、衛星端末を長時間放置している場合や、電源を入れたままにしている場合は、電池残量が減少している場合があります。

1 電池パックの Check を押す

ランプが約3秒点灯または点滅します。

ランプ	電池残量	
	81-100%	十分残っています。
	61-80%	残っています。
	41-60%	少なくなっています。
	21-40%	残りわずかになっています。
	11-20%	ほとんどありません。（充電してください。）
	1-10%	ありません。（しばらくすると電源が切れます。充電してください。）
	0%	ありません。（電源が入りません。充電してください。）
	電池パックが使用できません。（指定の電池パックをお買い求めください。）	

衛星ハンドセットで確認する

ディスプレイ上部に表示される電池アイコンで確認できます。

電池アイコン

アイコン	電池残量	
	61-100%	十分残っています。
	21-60%	少なくなっています。
	1-20%	ほとんどありません。
	0%	ありません。

電池が切れたら

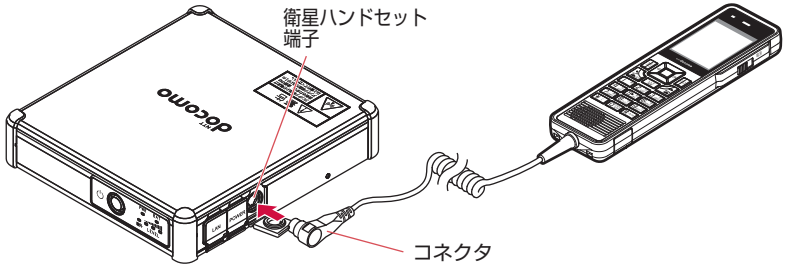
電池が切れそうになると、“充電してください”と表示され、スピーカーから電池アラームが鳴ります。
この約20秒後に通話や通信が切れると同時に電源が切れます。

- すぐに電池アラームを止める場合はを押します。

衛星ハンドセットの取り付けかた／取り外しかた

必ず衛星ハンドセット　０１（別売）の取扱説明書をご覧ください。
- 衛星ハンドセットの取り付け／取り外しは、衛星端末の電源を切ってから行ってください。

取り付けかた



1　衛星端末の衛星ハンドセット端子カバーを開く

・衛星ハンドセット端子カバーは、無理に引っ張らないでください。破損することがあります。

2　衛星ハンドセットのコネクタを図の向きで衛星ハンドセット端子へ水平に差し込む

・コネクタの向きをよく確かめ、衛星端末に水平になるようにして奥まで差し込んでください。
・無理やり差し込んだり抜いたりすると、衛星ハンドセット端子やコネクタが破損や故障する場合がありますので、ご注意ください。

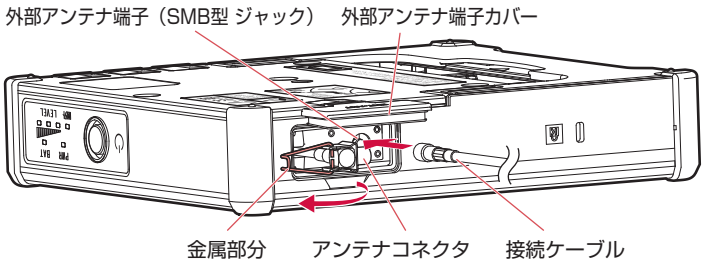
取り外しかた

1　衛星ハンドセットのコネクタを水平に抜く

2　衛星端末の衛星ハンドセット端子カバーを閉める

衛星屋外設置アンテナの取り付けかた

必ず衛星屋外設置アンテナ　０１（別売）の取扱説明書をご覧ください。
- 衛星端末のアンテナ面を下向きにして外部アンテナ端子に接続ケーブル（別売品）を取り付けてください。
- 衛星端末との接続は、衛星端末の電源を切ってから行ってください。



1 衛星端末の外部アンテナ端子カバーを開く

・外部アンテナ端子カバーは、無理に引っ張らないでください。破損することがあります。

2 アンテナコネクタの金属部分を持って引き抜く

・アンテナコネクタは、無理に引っ張らないでください。破損することがあります。

3 外部アンテナ端子（SMB 型 ジャック）に接続ケーブル（別売品）を接続する

・無理やり接続したり抜いたりすると、外部アンテナ端子が破損や故障する場合がありますので、ご注意ください。

電源を入れる／切る

• 衛星端末または衛星ハンドセットのどちらかの電源スイッチを入れると衛星端末の電源が入ります。

電源を入れる

1 衛星端末の電源スイッチを押す

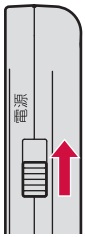
衛星端末が起動します。

・受信レベルのランプで、電波の受信レベルの目安が確認できます。→P19

・衛星ハンドセットの電源スイッチを操作しなくても起動中画面が表示され、待受画面が表示されます。

2 衛星ハンドセットの電源スイッチを矢印の方向へスライドする

・衛星端末の電源スイッチを操作しなくても起動中画面が表示され、待受画面が表示されます。

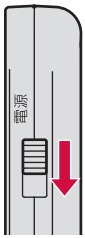


3 アンテナ面の向きを調整する

受信レベルの表示がなるべく強いレベルを指すように、衛星端末の向きおよびスタンドの角度を調整してください。→P18

電源を切る

1 衛星ハンドセットの電源スイッチを矢印の方向へスライドする



2 衛星端末の電源スイッチを押す

お知らせ

- 電池パックを取り付けずに、アダプタを接続して衛星端末を利用している場合、アダプタの取り外しは、必ず衛星端末の電源を切ってから行ってください。
- 衛星ハンドセットおよび衛星端末の電源スイッチを操作する以外の方法で電源を切らないでください。設定内容が消失するおそれがあります。

日付・時刻を合わせる

日付時刻設定

日付・時刻を自分で入力します。
ネットワークからの時刻情報を受信した場合は、自動で補正します。

1 メニュー▶[2]表示・操作▶[3]日付時刻設定

2 日付・時刻を設定▶[●]

日付：2008/01/01 00:00から2097/12/31 23:59の間で日付を入力します。
時刻：24時間制で時刻を入力します。

お知らせ

- 電源を入れたときに時刻の補正を行います。電源を入れてもしばらく補正されない場合は、電源を入れ直してください。ただし、FOMAカードを取り付けていない場合や電波状態によっては、電源を入れ直しても補正されません。FOMAカードを正しく取り付けているかご確認ください。→P23
- 時刻は、数秒程度の誤差が生じる場合があります。
- 電源を切ると、日付・時刻の設定は初期値に戻ります。

電話をかけるときに通知／非通知を設定する

発信者番号通知

電話をかけたときに、相手の電話機に自分の電話番号（発信者番号）を表示させます。

- 発信者番号はお客様の大切な情報です。発信者番号を通知する際には、十分にご注意ください。
- 相手の電話機が発信者番号表示ができるときに表示されます。

1 電話番号を入力▶メニュー▶[2]番号通知

2 [1]通知／[2]非通知／[3]指定しない▶[📞]

- 「通知」または「非通知」にすると、発信履歴には「＋」もしくは「－」のマークが付いた電話番号が記録されます。→P41
- 「指定しない」にすると、あらかじめ設定した発信者番号通知設定に従います。

発信者番号通知の優先順位

自分の電話番号を相手に通知／非通知にする方法は複数あります。これらを同時に設定したり操作したりした場合、次の優先順位で番号通知動作が行なわれます。ただし、ディスプレイの表示と実際の通知／非通知が異なる場合があります。

①発信時に番号通知方法を設定した場合
②相手の電話番号の前に「186」または「184」を付けた場合
③あらかじめ通知／非通知を設定した場合

お知らせ

- 電話をかけたときに発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号通知を設定するか「186」をつけてからおかけ直しください。
- 「184」または「186」を付けて発信した場合、発信履歴にはその番号が付いた電話番号が記録されます。
- 国際電話では、発信者番号通知を設定していても、通信事業者によっては発信者番号が通知されなかったり、正しく番号表示されないことがあります。この場合、着信履歴から発信できません。
- 「184」または「186」から始まる電話番号で、発信時に番号通知方法を通知／非通知に設定した場合は、相手につながりません。

あらかじめ通知／非通知を設定する

1 **メニュー▶[1]セキュリティ▶[1]発信者番号通知▶端末暗証番号を入力**

2 **[1]通知する／[2]通知しない**

自分の電話番号を確認する

自局番号表示

自局電話番号（ご契約電話番号）を確認します。

1 **メニュー▶[0]自局番号表示**

通話中に確認することもできます。

契約者情報を確認する

契約者情報確認

1 **メニュー▶[9]設定状況▶[3]契約者情報確認**

契約：お客様がご契約している内容（一般／帯域占有）
音声：音声の契約有無
BE：パケット通信（ベストエフォート方式）の契約有無
GR：64Kデータ通信（ギャランティ方式）の契約有無
ビーム：契約しているビーム（1/2/1,2）※ビーム１：東日本エリア、ビーム２：西日本エリア

お知らせ

- 帯域占有サービス契約（別途お申し込み）におけるビーム毎契約をしている場合に限り、「ビーム」は表示されます。

電話

電話のかけかた

■ 電話をかける 40
■ 発信履歴／着信履歴を利用して電話をかける 発信履歴／着信履歴 40
■ プッシュ信号を送る 42
■ 国際電話を利用する WORLD CALL 42
■ 緊急通報する 緊急通報 43
■ 途切れた通話を自動的に接続する 再接続設定 44
■ 周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にする ノイズキャンセラ 44
■ エコーを抑える エコーキャンセラ 44

電話の受けかた

■ 電話を受ける 45
■ ダイヤルキーを押して電話に出る エニーキー 45
■ 相手の声の音量を調節する 受話音量 45
■ 通話中の消費電力を節約する 電池節約モード 46

電話に出られないとき／出られなかったとき

■ すぐに電話に出られないときに保留する 応答保留 46
■ スピーカー受話に切り替える スピーカー受話切替 47
■ 通話中に電話がかかってきたときの応答方法を設定する 通話中機能選択 48
■ 自動で電話を受ける 自動応答設定 48

電話をかける

1 **電話番号を入力**

・同じ市内への通話でも、必ず市外局番から入力してください。
・24桁まで入力できます。
・電話番号を押し間違えたときは、CLRを押してください。

2

3 **通話が終わったら**

お知らせ

●を押した後に電話番号を入力しても電話をかけられます。
電話番号を入力してから、約5秒後に電話がかかります。
電話番号を押し間違えたときは、を押して表示を消してからおかけ直しください。
●連続して発信する場合は、終話後、約5秒程度間隔を空けてから発信してください。
●発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号通知を設定するか「186」を付けてからおかけ直しください。→P36
●衛星ハンドセット置台　01（別売）に置いたまま電話をかけた場合は、自分の声は相手には聞こえません。置台から外してお話しください。
●平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を使用してハンズフリーで通話する場合は、そのままお話しください。
●自分の声や相手の声が遅れて聞こえることがあります。
●相手が電話を切った場合でも、を押してください。
●通話していないときに音が鳴った場合は、を押して音を止めてください。

通話中に保留する

・保留中も発信側に通話料金がかかります。

1 **通話中にCLR**

通話が保留になり、通話保留音が流れます。

2 **通話を再開するときはCLRまたは**

通話中に受話音量を調節する

・レベル1（最小）～レベル6（最大）の6段階で調節します。

1 **通話中に**

・通話中に調節した受話音量は、メニューで調節した受話音量には反映されません。

発信履歴／着信履歴を利用して電話をかける　発信履歴／着信履歴

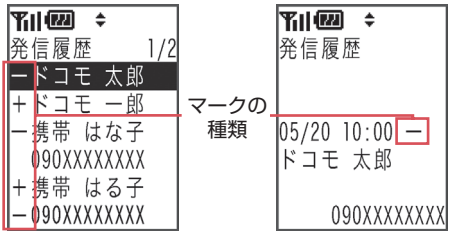
発信／着信した相手の電話番号や日時を記憶し、相手にかけ直すことができます。
・最新の履歴を最大10件記憶します。10件を超えると古いものから削除されます。
・電話帳に登録しているときは、相手の名前が表示されます。
・電話帳に同じ電話番号を異なる名前で登録している場合、メモリ番号の小さい方の名前が表示されます。ただし、電話帳から電話をかけた場合の発信履歴は、呼び出した電話帳の名前が表示されます。
・通話中に発信履歴／着信履歴を表示できますが、電話をかけることはできません。

発信履歴

・同じ相手に発信した場合は、最新の１件が記憶されます。

1 ▶相手にカーソル

・●を押すと履歴の詳細画面が表示されます。



発信履歴一覧画面　発信履歴詳細画面

マークの種類

電話をかけるときに通知／非通知を設定した場合に表示されます。→P36

＋	番号通知で発信
ー	非通知で発信
（マークなし）	設定しないで発信

2 履歴一覧画面／履歴詳細画面で

・メニュー 2 を押すと、番号通知を設定して電話をかけられます。→P36

着信履歴

・ダイヤルインをご利用の相手からの着信のとき、相手のダイヤルイン番号とは異なる番号が表示される場合があります。

1 ▶相手にカーソル

・●を押すと履歴の詳細画面が表示されます。

着信履歴一覧画面　着信履歴詳細画面

・かかってきた電話に出られなかったときは、待受画面に「着信あり」が表示され、着信履歴に「！」が表示されます。

・相手の電話番号が通知されなかったときは、「非通知設定」と表示されます。

2 履歴一覧画面／履歴詳細画面で

発信履歴／着信履歴を表示中のメニュー

履歴一覧画面で相手にカーソル▶MENU

1電話帳新規登録／1電話帳修正	→P52、54	
2番号通知	→P36	
3削除	1 1件削除	YES
	2全件削除	端末暗証番号を入力▶YES

履歴詳細画面でMENU

1電話帳新規登録／1電話帳修正	→P52、54
2番号通知	→P36
3 1件削除	YES

お知らせ

●電源を切るときに発信履歴と着信履歴を保存するかを設定することができます。→P65

プッシュ信号を送る

通話中にダイヤルキーを押すと、プッシュ信号を送ることができます。
プッシュ信号は、受信側の機器によっては受信できない場合があります。

1 通話中に番号を入力

通話中画面で押した番号が画面に表示され、プッシュ信号が送出されます。

国際電話を利用する WORLD CALL

「WORLD CALL」は、衛星端末からご利用いただける国際電話サービスです。
ワイドスターサービスをご契約のお客様は、ご契約時にあわせて「WORLD CALL」もご契約いただいています（ただし、不要のお申し出をされた方を除きます）。

- 通話先は世界約240の国と地域です。
- 「WORLD CALL」の料金は毎月の衛星端末の通信料金と合わせて請求させていただきます。
- 申込手数料・月額使用料は無料です。
- 一部ご利用になれない料金プランがあります。
- 「WORLD CALL」についての詳細は、ドコモの総合お問い合わせ先（ドコモ インフォメーションセンター）0120-800-000までお問い合わせください。
- ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用いただく場合は、各国際電話サービス会社に直接お問い合わせください。
- 接続可能な国および通信事業者などの情報については、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。
- 通信事業者によっては発信者番号が通知されなかったり、正しく表示されない場合があります。

1 0 0 9 1 3 0▶0 1 0▶国番号▶地域番号（市外局番）▶相手の電話番号を入力▶

・地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。

緊急通報する

衛星電話から警察／消防・救急／海上保安庁に緊急通報することができます。

警察／消防・救急へ通報する

- 消防・救急への緊急通報は、東京都（地域番号31）のみご利用可能です（2012年4月現在）。

1 1 1 0／1 1 9

警察へ通報するときは「110」、消防・救急へ通報するときは「119」を入力します。

2

音声ガイダンスが流れます。

- 地域番号がわかっているときは、地域番号を入力してください。警察／消防・救急へつながります。
- 地域番号がわからないときは、操作手順3へ進みます。

3

地域番号を検索する画面が表示されます。

4 呼び出したい地域番号の頭文字の行にカーソル▶●

選択した行の頭文字から始まる地域名が表示されます。

5 呼び出したい地域番号にカーソル▶●

警察／消防・救急へつながります。

地域番号一覧

行	ご利用地域	番号
ア	愛知	46
	青森	25
	秋田	28
	石川	43
	茨城	32
	岩手	26
	愛媛	61
	大分	67
	大阪	50
	岡山	56
	沖縄	70
カ	香川	60
	鹿児島	69
	神奈川	37
	岐阜	45
	京都	49
	熊本	66
	群馬	34
	高知	62
サ	埼玉	35
	佐賀	64
	滋賀	48
	静岡	41
	島根	55
タ	千葉	36
	東京	31
	徳島	59
	栃木	33
	鳥取	54
	富山	42
ナ	長崎	65
	長野	40
	奈良	52
	新潟	38
ハ	広島	57
	兵庫	51
	福井	44
	福島	30
	福岡	63
	北海道　旭川	22
	北海道　北見	24
	北海道　釧路	23
	北海道　札幌	20
	北海道　函館	21
マ	三重	47
	宮崎	68
	宮城	27
ヤ	山口	58
	山形	29
	山梨	39
ワ	和歌山	53

海上保安庁へ通報する

1 1 1 8

海上で事件・事故がおきたときは、「118」を入力します。

2

海上保安庁へつながります。

途切れた通話を自動的に接続する　再接続設定

電波の状態などで通信が途切れた通話を、自動的に再接続するかを設定します。また、再接続するときに鳴らす音を設定します。

- 電波の状態により再接続可能な時間は異なります。目安は約10秒間です。
- 再接続されるまでの間（最長約10秒間）、相手は無音状態になります。また、この間も通話料金がかかります。

1 メニュー▶3 各種設定▶1 再接続設定▶端末暗証番号を入力

2 1 高音／2 低音／3 アラームなし／4 解除

周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にする　ノイズキャンセラ

- 通常は、「YES」にした状態で使用することをおすすめします。

ノイズキャンセラを設定する

1 メニュー▶6 通話・通信▶4 ノイズキャンセラ

2 1 YES ／2 NO

エコーを抑える　エコーキャンセラ

自分が話した声が、相手の声といっしょに受話口から聞こえるときがあります。
自分の声が相手に聞こえやすくするかを設定します。

- 通常は、「YES」にした状態で使用することをおすすめします。

エコーキャンセラを設定する

1 メニュー▶6 通話・通信▶5 エコーキャンセラ

2 1 YES ／2 NO

電話を受ける

1 電話がかかってくると着信音が鳴り、着信ランプが点滅します。

着信中の表示

・相手の電話番号が通知されなかったときは、相手の名前や電話番号は表示されません。
・電話帳に登録しているときは、相手の名前と電話番号が表示されます。
・電話帳に同じ電話番号を異なる名前で登録している場合、メモリ番号の小さい方の名前が表示されます。

着信中の操作

・[通話]または[CLR]を押すと、応答保留できます。→P46
・[ﾒﾓ/ﾐｭｰﾄ][通話]を押すと、電話を受けずに切断（着信拒否）できます。
・[音量]を押すと、着信音量を調節できます。メニューで調節した着信音量には反映されません。

2 [通話]

・ダイヤルキーを押して、電話に出ることもできます。→P45

3 通話が終わったら[通話]

お知らせ

●留守番電話サービス、転送でんわサービスのいずれかを契約済みで、通話中機能選択が「通常着信」の場合、通話中に別の電話が着信すると、「ププ…ププ」という通話中着信音が聞こえます。このとき、留守番電話サービス、転送でんわサービスを開始していると各サービスが動作します。
●衛星端末からの転送電話着信時も、通常の着信時と同様に名前が表示されます。ただし、転送元によっては電話番号や名前が表示されない場合があります。
●相手が電話を切った場合でも、[通話]を押してください。
●通話していないときに音が鳴った場合は、[通話]を押して音を止めてください。

ダイヤルキーを押して電話に出る　エニーキー

[通話]以外に[0]～[9]（ダイヤルキー）を押して電話に出られるようにするかを設定します。

1 メニュー▶[2]表示・操作▶[2]エニーキー

2 [1]ON／[2]OFF

相手の声の音量を調節する　受話音量

・レベル1（最小）～レベル6（最大）の6段階で調節します。

1 メニュー▶[5]発着信▶[4]受話音量

2 [音量]で音量を調節▶[●]

お知らせ

●通話中に受話音量を変更できます。→P40
●キー確認音の音量は、受話音量に従って動作します。

通話中の消費電力を節約する

電池節約モード

• 通話中に設定します。

1 通話中にメニュー▶[*]電池節約モード

・通話が終わっても保持されます。
・電池節約モードを解除するときは、再度、通話中にメニュー▶[*]電池節約モードを選択してください。

すぐに電話に出られないときに保留する

応答保留

• 応答保留中でも相手に通話料金はかかります。

1 着信中に[📞]または[CLR]

応答保留になり、相手に応答保留音が流れます。

2 電話に出られる状態になったら[📞]または[CLR]

・応答保留中に[📞]を押すか相手が電話を切ると、通話が終了します。

スピーカー受話に切り替える

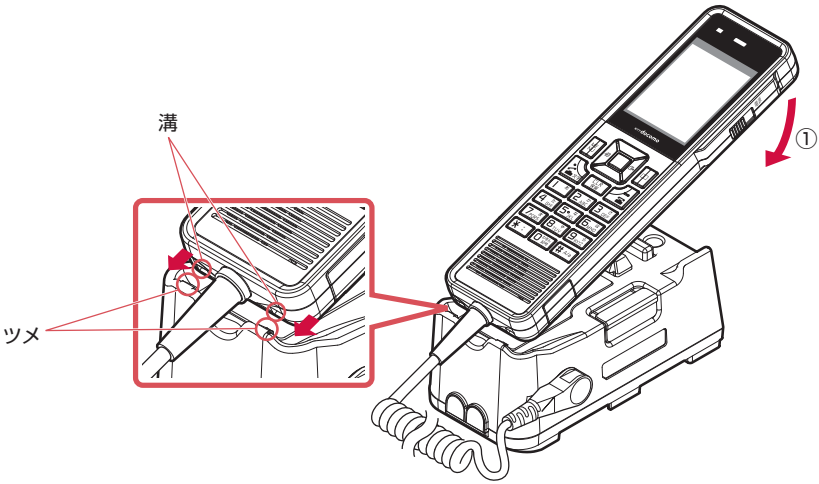
スピーカー受話切替

必ず衛星ハンドセット置台　０１（別売）の取扱説明書をご覧ください。

- スピーカー受話切替の操作をせずに、衛星ハンドセットを衛星ハンドセット置台へ置くと通話が切れます。

衛星ハンドセット置台への置きかた／取り外しかた

衛星ハンドセット置台へ置く



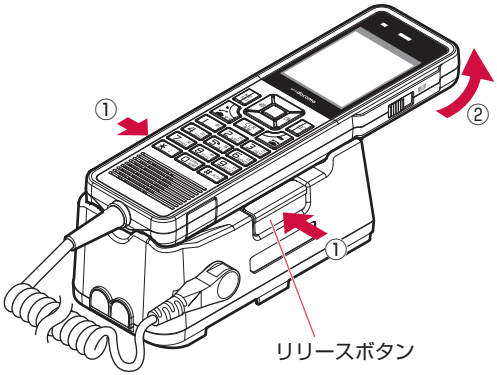
1 **衛星ハンドセットの溝を衛星ハンドセット置台のツメに合わせる**

2 **衛星ハンドセットを衛星ハンドセット置台に①の方向にはめ込む**

・「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。

衛星ハンドセット置台から取り外す

- 衛星ハンドセットを衛星ハンドセット置台から取り外すと、を押した状態と同じになります。



つづく▶

1 衛星ハンドセット置台のリリースボタン（2箇所）を①の方向に押しながら、衛星ハンドセットを②の方向に持ち上げる

・衛星ハンドセット置台を垂直に立てて使用している場合は、取り外すときに衛星ハンドセットが落下しないようご注意ください。

スピーカー受話に切り替える

1 通話中にメニュー▶CLR スピーカー受話

2 衛星ハンドセット置台に衛星ハンドセットを置く

・スピーカーに切り替えると音量が急に大きくなります。
・スピーカーに切り替えると自分の声は相手には聞こえません。
・衛星ハンドセット置台から外すと、スピーカー受話切替は解除されます。

通話中に電話がかかってきたときの応答方法を設定する

通話中機能選択

留守番電話サービス、転送でんわサービスをご契約されているお客様の通話中にかかってきた電話にどのように対応するかを設定します。
• 留守番電話サービス、転送でんわサービスが未契約の場合は、通話中の着信に応答できません。
• 通話中に電話がかかってきたときは通話中着信音が鳴ります。

1 メニュー▶5 発着信▶5 通話中機能選択

2 1 通常着信／2 着信拒否

［通常着信］

・電話を終了して着信した電話に応答できます。

［着信拒否］

・すべての着信が拒否されます。留守番電話サービス、転送でんわサービスを設定していた場合は、留守番電話サービス、転送でんわサービスが動作します。

お知らせ

●通話中にかかってきた電話に応答する場合は を押して通話を終了し、 を押してください。
●通話中にダイヤルキーを押して電話に出ることはできません。

自動で電話を受ける

自動応答設定

あらかじめ設定しておいた電話番号から電話がかかってきたときに、約5秒後に自動で通話中になります。
• 設定できる電話番号は5件です。
• 相手が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。

1 メニュー▶5 発着信▶6 自動応答設定▶端末暗証番号を入力

2 [1] **ON ▶電話帳を選択**

・他の電話番号を続けて設定する場合は[1] YESを押して電話帳を選択してください。

自動応答設定すると

次の操作ができなくなります。

・指定した電話帳の修正、削除

お知らせ

●留守番電話サービス、転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」に設定していた場合は、留守番電話サービス、転送でんわサービスが動作します。

電話帳

■ 衛星端末で使用できる電話帳について 52
■ 電話帳に登録する 電話帳登録 52
■ グループ名を変更する グループ名登録 53
■ 電話帳から電話をかける 電話帳検索 53
■ 電話帳を修正する 電話帳修正 54
■ 電話帳を削除する 電話帳削除 55
■ 電話帳に制限動作を設定する 電話帳禁止動作 55
■ 電話帳の登録件数を確認する 電話帳状況確認 56
■ 少ないキー操作で電話をかける ツータッチダイヤル 56

衛星端末で使用できる電話帳について

衛星端末では、衛星ハンドセットの電話帳を使用できます。
FOMAカードに電話帳を登録することはできません。
- 電話帳登録件数は最大100件です。
- 電話帳に登録している名前と電話番号が発着信中、呼出中、通話中の画面に表示されます。

電話帳に登録する

電話帳登録

衛星ハンドセットの電話帳に登録します。
- お客様ご自身で衛星ハンドセットに登録された情報内容（電話帳など）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。衛星ハンドセットの故障や修理、その他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

1 メニュー▶電話帳 編集

2 電話番号▶電話番号を入力▶●

電話番号は市外局番から入力します。
・24桁まで入力できます。

3 名前▶名前を入力▶●

必ず入力してください。
・全角8文字（半角16文字）まで入力できます。

4 フリガナ▶フリガナを入力▶●

・半角16文字まで入力できます。

5 グループ▶グループを選択▶●

9個のグループがあります。→P53
・グループ設定していない電話帳は「なし」に設定されています。

6 メモリ番号▶メモリ番号を入力▶●

・入力しない場合は、最も小さい空きメモリ番号が割り当てられます。
・メモリ番号が重複した場合は上書き確認画面が表示されます。上書きしない場合は「新規登録」を選択してください。最も小さい空きメモリ番号が割り当てられます。
・メモリ番号の00～09に登録するとツータッチダイヤルが利用できます。→P56

7 ＜登録＞▶●

シークレット登録について

登録している電話帳にシークレットを設定してシークレット登録することができます。→P54

お知らせ

●電話帳を編集中に電池切れになったときや電話がかかってきたときは、編集した内容は保存されません。再度、編集してください。

グループ名を変更する

グループ名登録

- グループの「0 なし」は、グループ名の変更はできません。

1 メニュー▶[4]電話帳▶[3]グループ名登録

2 変更するグループにカーソル▶[●]

3 グループ名を入力▶[●]

- 全角7文字（半角14文字）まで入力できます。
- グループ名を消去すると、お買い上げ時のグループ名に戻ります。

電話帳から電話をかける

電話帳検索

電話をかける相手を、電話帳から呼び出します。

- シークレットモードでないときは、シークレット登録している電話帳は検索できません。
- 一度検索したあとは、前回と同じ検索方法の画面が表示されます。

1 [📖]

- グループ検索の画面が表示されているときは，[●]を押して電話帳一覧を表示してから操作手順2に進みます。
- メモリ番号検索の画面が表示されているときは，[●]を押して電話帳一覧を表示してから操作手順2に進みます。

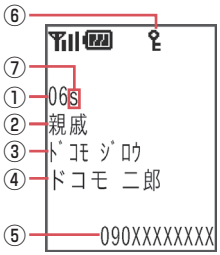
2 [MENU]▶[1]電話帳検索

登録した電話帳を3つの検索方法で呼び出します。

[1]50音順	[✉]で表示する行を選択 ・電話帳に登録したフリガナの50音順で表示されます。 ・50音以外のフリガナは「他」に、空白で始まるもの→アルファベット→数字→記号→フリガナなしの順で表示されます。
[2]グループ検索	[0]～[9]でグループを選択 ・同じグループ内では50音順で表示されます。
[3]メモリ番号検索	メモリ番号を入力▶[●] ・メモリ番号を入力せずに[●]を押すと、一番小さいメモリ番号から表示されます。

3 相手にカーソル

一覧画面（50音順）



詳細画面

①メモリ番号
②グループ名
③フリガナ
④名前
⑤電話番号
⑥シークレットモード中
⑦シークレット登録

4 一覧画面／詳細画面で

電話帳を表示中のメニュー

電話帳一覧画面で相手にカーソル▶MENU

1 電話帳検索	→P53
2 新規登録	→P52
3 修正	→P54
4 削除	→P55
5 番号通知	→P36

電話帳詳細画面でMENU

1 修正	→P54
2 1件削除	→P55
3 番号通知	→P36

電話帳を修正する

電話帳修正

1 電話帳を表示

2 MENU▶「修正」を選択▶各項目を設定▶＜登録＞▶1 上書き登録／2 新規登録

- 各項目の設定方法については P52 をご覧ください。
- メモリ番号を変更すると、修正前の電話帳を元の内容のまま残し、修正後の内容を別のメモリ番号で登録します。
- 上書きするときは「上書き登録」、上書きしないで新しい電話帳として登録するときは「新規登録」を選択します。

シークレットを設定する

シークレットモードではシークレット登録している電話帳を検索、閲覧、削除することができます。
電話帳をシークレット登録するにはシークレットモードに切り替えてください。
- シークレットモードでないときは、シークレット属性を設定した電話帳は表示されません。

1 メニュー▶1 セキュリティ▶3 シークレットモード切替▶端末暗証番号を入力▶1 ON

- シークレットモード中は、🔑が表示されます。
- 解除する場合は、端末暗証番号を入力後2 OFFを選択します。

2 CLRを2回

待受画面に戻ります。

3 電話帳を表示

4 MENU▶「シークレット設定」を選択

シークレットを設定すると、メモリ番号の後ろに"s"マークが表示されます。→P53

お知らせ

●シークレットモード中に📞を押すと、シークレットモードが解除されます。

電話帳を削除する

電話帳削除

1 電話帳を表示

2 MENU

電話帳一覧画面から削除

4削除	1 1件削除	YES
	2 全件削除	端末暗証番号を入力▶YES

電話帳詳細画面から削除

2 1件削除	YES

お知らせ

- シークレットモードでないときは、シークレット登録の電話帳は削除できません。
- 電話帳に制限動作を設定しているときや機能メニューで電話帳を参照しているときは、電話帳を削除できない場合があります。

電話帳に制限動作を設定する

電話帳禁止動作

電話帳の検索・閲覧、登録、削除ができないように設定します。

1 メニュー▶4電話帳▶1電話帳禁止動作▶設定する項目を選択▶端末暗証番号を入力

2 1 ON ／ 2 OFF

呼出禁止を設定すると

次の操作ができなくなります。

- 電話帳からの発信
- 電話帳の検索・閲覧、登録、修正、削除
  - ・呼出禁止を設定すると、発信履歴と着信履歴が全て削除されます。
  - ・電話帳に登録している電話番号からかかってきたときに、着信中の画面に名前が表示されません。
  - ・発信履歴と着信履歴に名前が表示されず、電話番号が表示されます。

登録禁止を設定すると

次の操作ができなくなります。

- 電話帳の登録、修正、削除

削除禁止を設定すると

次の操作ができなくなります。

- 電話帳の修正、削除

電話帳の登録件数を確認する

電話帳状況確認

電話帳に登録されている件数とそのうちシークレット登録している件数を表示します。

1 **メニュー▶[4]電話帳▶[2]電話帳状況確認**

少ないキー操作で電話をかける

ツータッチダイヤル

メモリ番号が00～09の相手には、簡単な操作で電話を発信できます。

例 メモリ番号02の電話番号に電話をかける

1 **メモリ番号([2])を長押し(3秒以上)▶**

音／画面／照明設定

音の設定

■ 着信音の音量を設定する　着信音量　58
■ キー確認音を設定する　キー確認音　58
■ 通話が途切れそうなときにアラームで知らせる　通話品質アラーム　58

画面／照明の設定

■ ディスプレイとキーの照明を設定する　58
■ 時計の表示を設定する　時計表示設定　59

着信音の音量を設定する

着信音量

• レベル1（最小）～レベル6（最大）または「消去」で調節します。

1 メニュー▶5発着信▶3着信音量

2 ●で音量を調節▶●

消去：「レベル1」で◎

お知らせ

●着信中に着信音量を変更できます→P45
●着信音量を「消去」に設定すると、待受画面に🔕が表示されます。

キー確認音を設定する

キー確認音

キーを押したときに確認音を鳴らすかを設定します。

1 メニュー▶2表示・操作▶1キー確認音

2 1ON／2OFF

・キー確認音の音量は、受話音量に従って動作します。→P45

通話が途切れそうなときにアラームで知らせる

通話品質アラーム

電波の状態が悪く途中で通話が切れそうなとき、直前にアラームを鳴らすかを設定します。

1 メニュー▶6通話・通信▶6通話品質アラーム

2 1高音／2低音／3OFF

・利用状態や電波状態により、アラームが鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。

ディスプレイとキーの照明を設定する

ディスプレイの照明を設定する

バックライト

バックライトを点灯して、ディスプレイを明るくする時間を設定します。

1 メニュー▶2表示・操作▶5バックライト

2 1消灯／2常時点灯／3自動

・「常時点灯」にすると、輝度設定で設定した明るさで常にバックライトが点灯します。
・「自動」にすると、点灯から約15秒で消灯します。

ディスプレイの輝度を設定する

輝度設定

ディスプレイのバックライトの明るさを設定します。

1 メニュー▶2表示・操作▶6輝度設定

2 1高／2低

着信を着信ランプで知らせる

着信ランプ

電話がかかってきたときに着信ランプが点滅するかを設定します。

1 メニュー▶2表示・操作▶7着信ランプ

2 1点滅／2消灯

キーの照明を設定する

キーライト

キーの照明を明るくする時間を設定します。

1 メニュー▶2表示・操作▶8キーライト

2 1消灯／2常時点灯／3自動

・「常時点灯」にすると、一定の輝度で常にキーライトが点灯します。
・「自動」にすると、点灯から約15秒で消灯します。

時計の表示を設定する

時計表示設定

待受画面の時計表示の有無を設定します。

1 メニュー▶2表示・操作▶4時計表示

2 1YES／2NO

あんしん設定

暗証番号について

■ 衛星ハンドセットで利用する暗証番号 62
■ 端末暗証番号を変更する 端末暗証番号変更 62

衛星端末の操作や機能を制限する

■ キーの操作を制限する ダイヤルロック 62

発着信を制限する

■ ダイヤル／指定した電話帳以外からの発信を禁止する 発信禁止設定 63
■ 指定した電話帳からの着信を拒否／許可する メモリ着信設定 64

その他の「あんしん設定」について

■ その他の「あんしん設定」について 65
■ 電源を切るときに発信履歴と着信履歴を保存するかを設定する バックアップ設定 65
■ 各種機能の設定状況を確認する 設定状況確認 65
■ 各種機能の設定をリセットする 設定リセット 65
■ 登録データを一括して削除する データ一括削除 65

衛星ハンドセットで利用する暗証番号

衛星ハンドセットを便利にお使いいただくための各種機能には、端末暗証番号が必要な場合があります。

- 入力した端末暗証番号は、「＊」で表示されます。

■暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 暗証番号を忘れてしまった場合は、ご契約者本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や衛星端末、衛星ハンドセットを弊社窓口までご持参いただく必要があります。詳細は取扱説明書裏面の「ワイドスターサービスに関するお問い合わせ先」までご相談ください。

端末暗証番号

お買い上げ時の端末暗証番号は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

- 間違った端末暗証番号を入力したときは、「暗証番号が誤っています」と表示されます。正しい暗証番号を入力してください。

端末暗証番号を変更する

端末暗証番号変更

暗証番号（4桁の数字）を変更できます。

1 メニュー▶[1]セキュリティ▶[2]暗証番号変更▶端末暗証番号を入力する

2 新しい端末暗証番号を入力▶[1]YES／[2]NO

キーの操作を制限する

ダイヤルロック

ダイヤルロックを設定すると、各種メニュー機能の操作などができなくなり、他人が不正に衛星端末を使用するのを防げます。

ダイヤルロック中に緊急通報（110番、119番、118番）を行うには、待受画面で緊急通報番号を入力して[☎]を押します。
その場合、緊急通報番号は「＊」で表示されます。

1 メニュー▶[#]長押し（3秒以上）

待受画面に🔒が表示されます。

ダイヤルロックを解除する

待受画面で端末暗証番号を入力して[☎]を押すと、ダイヤルロックが解除されます。
待受画面に戻るときは、[⏻]を押してください。

- 誤った端末暗証番号を連続5回入力すると電源が切れます。
  衛星ハンドセットの電源スイッチを切る方向へスライドし、衛星端末の電源スイッチを1度押してください。このあと電源を入れる／切る操作はできますが、電源を切ってもダイヤルロックは解除されません。→P35

お知らせ

●ダイヤルロック中でも次の機能は利用できます。
－電話を受ける操作
－緊急通報（110番、119番、118番）への発信

ダイヤル／指定した電話帳以外からの発信を禁止する

発信禁止設定

- 発信禁止設定すると、発信履歴と着信履歴が全て削除されます。
- 発信禁止設定中でも、緊急通報（110番、119番、118番）はできます。

ダイヤル発信を禁止する

ダイヤル発信制限

電話帳を利用する以外の方法では、電話を発信できないように設定します。

1 メニュー▶5発着信▶1発信禁止設定▶1ダイヤル発信制限▶端末暗証番号を入力

2 1ON／2OFF

ダイヤル発信制限を設定すると

次の操作ができなくなります。
・発信履歴や着信履歴からの発信※1
・ダイヤル入力操作によるネットワークサービスの利用
※1 電話帳に登録している相手への発信はできます。

指定した電話帳以外からの発信を禁止する

電話帳発信制限

指定した電話帳を利用する以外の方法では、電話を発信できないように設定します。
- 指定できる電話番号は3件です。
- シークレットモード中は設定できません。
- シークレット登録した電話帳は指定できません。

1 メニュー▶5発着信▶1発信禁止設定▶2電話帳発信制限▶端末暗証番号を入力

2 1ON▶電話帳を選択

・他の電話番号を続けて設定する場合は1YESを押して電話帳を選択してください。

電話帳発信制限を設定すると

次の操作ができなくなります。
・ダイヤル入力での発信
・発信履歴からの発信※1
・着信履歴からの発信
・指定した電話帳以外の電話帳の検索・閲覧
・指定した電話帳の修正
・ダイヤル入力操作によるネットワークサービスの利用
※1 指定した電話帳に登録している相手への発信はできます。

指定した電話帳からの着信を拒否／許可する

メモリ着信設定

指定した電話帳からの着信を、拒否または許可に設定することができます。
- 拒否設定と許可設定を同時に有効にはできません。
- 設定できる電話番号は3件です。
- シークレット登録した電話帳は指定できません。
- 本機能は、相手が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。
- 拒否／許可のいずれもしない場合は「解除」を設定してください。

指定した電話帳からの着信を拒否する

着信拒否

1 メニュー▶5 発着信▶2 メモリ着信設定▶端末暗証番号を入力

2 1 着信拒否▶電話帳を選択

・他の電話番号を続けて設定する場合は1 YESを押して電話帳を選択してください。

メモリ着信設定を拒否に設定すると

次の操作ができなくなります。
・指定した電話帳の修正、削除

お知らせ

●設定した電話番号から電話がかかってくると、電話が切れ、不在着信として記録されます。
●留守番電話サービス、転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」に設定していた場合は、留守番電話サービス、転送でんわサービスが動作し、着信履歴には記録されません。

指定した電話帳からの着信のみを許可する

着信許可

1 メニュー▶5 発着信▶2 メモリ着信設定▶端末暗証番号を入力

2 2 着信許可▶電話帳を選択

・他の電話番号を続けて設定する場合は1 YESを押して電話帳を選択してください。

メモリ着信設定を許可に設定すると

次の操作ができなくなります。
・指定した電話帳の修正、削除

お知らせ

●設定した電話番号以外から電話がかかってくると、電話が切れ、不在着信として記録されます。
●留守番電話サービス、転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」に設定していた場合は、留守番電話サービス、転送でんわサービスが動作し、着信履歴には記録されません。

その他の「あんしん設定」について

衛星端末を安心してお使いいただくため、次の設定や機能を利用できます。

機能／サービス名称	目的	参照先
迷惑電話ストップサービス	いたずら電話や悪質なセールス電話などの「迷惑電話」を着信したくない。	P77
番号通知お願いサービス	発信者番号を通知してこない電話を着信したくない。	P77

電源を切るときに発信履歴と着信履歴を保存するかを設定する　バックアップ設定

1 メニュー▶[1]セキュリティ▶[4]バックアップ設定

2 [1]発信履歴／[2]着信履歴

3 [1]ON／[2]OFF

「[1]ON」に設定すると電源を切っても履歴が保存されます。

各種機能の設定状況を確認する　設定状況確認

1 メニュー▶[9]設定状況▶[1]設定状況確認▶[決]で設定状況を確認

各種機能の設定をリセットする　設定リセット

メニュー一覧の赤文字の機能をお買い上げ時の状態に戻します。→P86
- 設定リセットを行っているときは、電源を切らないでください。

1 メニュー▶[9]設定状況▶[2]設定リセット▶端末暗証番号を入力

2 [1]YES▶[1]YES

登録データを一括して削除する　データー括削除

登録されているデータを削除し、各種機能の設定をお買い上げ時の状態に戻します。→P86
- データー括削除を行っているときは、電源を切らないでください。

1 メニュー▶[9]設定状況▶[4]データー括削除▶端末暗証番号を入力

2 [1] YES ▶ [1] YES

便利な機能

■ 通話時間・料金を確認する 68
■ パケット通信量・64Kデータ通信時間を確認する 68
■ 利用するデータ通信サービスを設定する NW 設定 69

通話時間・料金を確認する

音声電話の直前および積算の通話時間と通話料金を確認できます。
- 通話時間は、かけた場合とかかってきた場合の両方がカウントされます。
- 通話料金はかけた場合のみカウントされます。ただし、フリーダイヤルなどの無料通話先や番号案内（104）などに通話した場合は、「＊＊円」と表示されます。
- 通話時間が9999時間59分59秒、通話料金が4,294,967,295円を超えると0からカウントし直します。
- 表示される通話時間および通話料金はあくまで目安であり、実際の時間や料金とは異なる場合があります。
- 表示される通話料金に消費税は含まれていません。

積算通話時間・料金をリセットする

1 メニュー▶6 通話・通信▶1 積算情報リセット▶端末暗証番号を入力

2 1 YES ▶1 YES

積算通話時間・料金を確認する

積算時間・料金

1 メニュー▶6 通話・通信▶2 積算時間・料金

積算時間：音声電話で通話した積算時間
積算料金：音声電話の積算料金

通話時間・料金を確認する

通話時間・料金

1 メニュー▶6 通話・通信▶3 通話時間・料金

通話時間：直前に発着信した音声電話の通話時間
通話料金：直前に通話した音声電話の料金

パケット通信量・64Kデータ通信時間を確認する

データ通信の直前および積算の情報を確認できます。
- パケット数が4,294,967,295パケット、通信時間が9999時間59分59秒を超えると0からカウントし直します。
- 表示されるパケット情報はあくまで目安であり、実際のパケット数や時間とは異なる場合があります。

積算パケット通信量・64Kデータ通信時間を確認する

パケット積算表示

1 メニュー▶6 通話・通信▶7 パケット積算表示

ベストエフォート：パケット通信で通信した積算パケット数（1パケットは128バイト）
ギャランティ：64Kデータ通信で通信した積算時間

パケット積算情報をリセットする

1 **メニュー▶[6]通話・通信▶[8]パケット積算リセット▶端末暗証番号を入力**

2 **[1]YES▶[1]YES**

パケット通信量・64Kデータ通信時間を確認する　パケット情報表示

1 **メニュー▶[6]通話・通信▶[9]パケット情報表示**

ベストエフォート：パケット通信で通信したパケット数（1パケットは128バイト）
ギャランティ：64Kデータ通信で通信した時間

利用するデータ通信サービスを設定する　NW 設定

パケット通信サービスを利用するか、64Kデータ通信サービスを利用するかを設定します。

1 **メニュー▶[3]各種設定▶[2]NW 設定▶端末暗証番号を入力**

2 **[1]ベストエフォート／[2]ギャランティ**

- 「ベストエフォート」にするとパケット通信サービス、「ギャランティ」にすると64Kデータ通信サービスを利用します。
- 帯域占有サービスをご契約でデータ通信のご契約内容が一種類またはデータ通信のご契約をしていないお客様は「選択できません」と表示されます。
- NW 設定を変更した場合は、衛星端末の電源を入れ直してください。

文字入力

■ 文字入力について 72
■ 文字を入力する 72

区点コード一覧の詳細については付属のCD-ROM内または、ドコモの法人向けホームページ（http://www.docomo.biz/）上の「区点コード一覧」（PDF版）をご覧ください。
PDF版「区点コード一覧」をご覧になるには、Adobe®Reader®が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROM内のAdobe®Reader®をインストールしてご覧ください。ご使用方法などの詳細につきましては、「Adobe Readerヘルプ」をご覧ください。

文字入力について

電話帳やグループ名変更で文字を入力する方法を説明します。

- 入力できる文字の種類には、全角文字（ひらがな／漢字／カタカナ／英字／数字／記号）、半角文字（カタカナ／英字／数字／記号）があります。全角の文字や空白は、半角文字２文字分にカウントされます。半角文字では、濁点と半濁点も１文字分にカウントされます。
- 入力できる漢字はJIS 第一水準漢字と第二水準漢字です。
- 複雑な漢字は、変形または省略して表示されます。
- 本書では文字入力の最後に●を押す操作も含めて「入力する」と表記しています。

文字入力画面の見かた

①入力モード
②カーソル
文字が入力または挿入される位置を示します。

入力モードを切り替える

1 **文字入力画面で**

- 押すたびに入力モードが漢字（ひらがな／漢字）→半カナ（半角カタカナ）→半英数（半角英字／半角数字）→英数（全角英字／全角数字）→記号（全角記号）→半記号（半角記号）→コード（区点コード）に切り替わります。
- 電話帳の電話番号を入力するときの入力モードは、半数（半角数字）となります。
- 文字入力画面によって切り替えられる入力モードは異なります。

文字を入力する

１つのキーに複数の文字が割り当ててあり、キーを押すたびに文字が切り替わります。

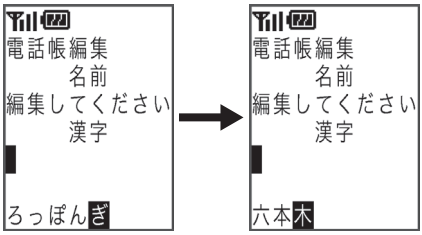
- 文字の割り当て一覧→P87

ひらがな／漢字で文字を入力する

例 電話帳の名前に「六本木」と入力する

1 **メニュー▶電話帳 編集▶2名前▶「ろっぽんぎ」と入力▶●**

「ろ」：9を５回
「っ」：4を３回→#
「ぽ」：6を５回→*を２回
「ん」：0を３回
「ぎ」：2を２回→*



・入力中は次の操作ができます。
CLR：文字の取り消し
＊：濁点や半濁点の付加
（例：ほ→ぼ→ぽ→ほ→…、つ→づ→つ→…）
＃：大文字／小文字の切り替え
（例：つ→っ→つ→…）
：変換
・変換しないときは、を押さずに操作2に進みます。

2 ●

文字を挿入する：
を押して挿入する位置までカーソルを移動し、文字を入力します。入力した文字はカーソル位置に挿入されます。

文字を削除する：
・カーソルが入力文字の途中にある場合
―CLRを押すと、カーソル位置の1文字が削除されます。
―CLRを3秒以上押すと、すべての文字が削除されます。
・カーソルが入力文字の末尾にある場合
―CLRを押すと、カーソルの左の1文字が削除されます。
―CLRを3秒以上押すと、すべての文字が削除されます。

お知らせ

●入力中にを押してカーソルを右に移動した場合は、次の操作はできません。
＊：濁点や半濁点の付加
＃：大文字／小文字の切り替え

記号を入力する

例 電話帳の名前に記号を入力する

1 メニュー▶電話帳 編集▶2名前▶を4回▶▶▶●

区点コードで入力する

区点コード入力

区点コード一覧表にある文字、数字、記号を4ケタの区点コードを使って入力します。
・「区点コード一覧」については、付属のCD-ROM内のPDF版「区点コード一覧」をご覧ください。

例 電話帳の名前に「携」（区点コード2340）を入力する

1 メニュー▶電話帳 編集▶2名前▶を6回▶4桁の区点コード（2340）を入力▶●

ネットワークサービス

■ 転送でんわサービスを利用する　転送でんわ　76
■ 留守番電話サービスを利用する　留守番電話　76
■ 迷惑電話ストップサービスを利用する　迷惑電話ストップ　77
■ 遠隔操作を設定する　遠隔操作設定　77
■ 番号通知お願いサービスを利用する　番号通知お願い　77
■ ガイダンスを日本語と英語で切り替える　英語ガイダンス　77

利用できるネットワークサービス

• 衛星端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。

サービス名称	お申し込み	月額使用料	衛星電話端末のメニュー機能	参照先
転送でんわサービス	要	無料	有	P76
留守番電話サービス	要	有料	有	P76
迷惑電話ストップサービス	不要	無料	有	P77
番号通知お願いサービス	不要	無料	有	P77
英語ガイダンス	不要	無料	有	P77

• サービスエリア外や電波の届かないところではネットワークサービスはご利用できません。
• 本書では、各ネットワークサービスの概要を、衛星端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。FOMA 端末のように、ダイヤルキーでの操作も可能です。詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
• 「サービス停止」とは、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどの契約そのものを解約するものではありません。
• お申込み、お問い合わせについては取扱説明書裏面の「ワイドスターサービスに関するお問い合わせ先」までお問い合わせください。

転送でんわサービスを利用する

転送でんわ

電波の届かないところにいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答しなかったときなどに、かかってきた音声電話を転送するサービスです。

- 転送でんわサービスが開始の時に電話に応答しなかった場合は、不在着信として記録され、待受画面に「着信あり」が表示されます。

転送でんわサービスの基本的な流れ

ステップ1：転送先の電話番号を登録する
ステップ2：サービスを開始に設定する
ステップ3：お客様の衛星端末に電話がかかる
ステップ4：電話に出ないと指定した転送先に転送される

1 メニュー▶7サービス1▶1転送でんわ

2 メニュー項目を選択して操作

1［サービス開始］
2［サービス停止］
3［転送先変更］

3 ▶音声ガイダンスに従って操作

留守番電話サービスを利用する

留守番電話

電波の届かないところにいるとき、電源が入っていないとき、電話に出られないときなどに、音声電話をかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。

- 留守番電話サービスが開始の時に電話に応答しなかった場合は、不在着信として記録され、待受画面に「着信あり」が表示されます。
- 伝言メッセージがあるときは「伝言メッセージあり」の☎が表示されます。

留守番電話サービスの基本的な流れ

ステップ1：サービスを開始に設定する
ステップ2：電話をかけてきた相手が伝言を録音する
ステップ3：伝言メッセージを再生する

1 メニュー▶7サービス1▶2留守番電話

2 メニュー項目を選択して操作

1［サービス開始］
2［呼出時間設定］
3［サービス停止］
4［メッセージ再生］
5［サービス設定］

3 ▶音声ガイダンスに従って操作

迷惑電話ストップサービスを利用する

迷惑電話ストップ

いたずら電話などの迷惑電話を着信しないように拒否するサービスです。着信拒否登録すると、以後の着信を自動的に拒否し、相手にはガイダンスで応答します。

- 着信拒否登録した電話番号からの着信時は、着信音は鳴らず着信履歴にも記録されません。

1 メニュー▶7サービス１▶3迷惑電話ストップ▶▶音声ガイダンスに従って操作

遠隔操作を設定する

遠隔操作設定

留守番電話サービスや転送でんわサービスなどを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。

1 メニュー▶7サービス１▶4遠隔操作設定▶▶音声ガイダンスに従って操作

番号通知お願いサービスを利用する

番号通知お願い

電話番号を通知してこない電話に対して、番号通知のお願いをガイダンスで応答し、自動的に電話を切るサービスです。

- 番号通知お願いサービスによって着信しなかった場合は、着信履歴に記録されず、待受画面に「着信あり」は表示されません。

1 メニュー▶8サービス２▶1番号通知お願い▶▶音声ガイダンスに従って操作

ガイダンスを日本語と英語で切り替える

英語ガイダンス

留守番電話サービスなどの各種ネットワークサービス設定時のガイダンスや、圏外などの音声ガイダンスを英語に設定することができます。

1 メニュー▶8サービス２▶2英語ガイダンス▶▶音声ガイダンスに従って操作

データ通信／ FAX 通信

■ データ通信／ FAX 通信について 80
■ ご利用になる前に 80
■ データ通信／ FAX 通信の流れ 83
■ CD-ROMについて 84

衛星端末でデータ通信をするには、通信確認ソフト／データ通信接続ソフトを使用する方法と、衛星FAXアダプタ　01（別売）を使用する方法があります。ここでは、通信確認ソフト／データ通信接続ソフトを使用してデータ通信する方法を説明しています。
衛星FAXアダプタ　01（別売）をご使用の際は、衛星FAXアダプタ　01（別売）の取扱説明書をご覧ください。

データ通信の詳細については、付属のCD-ROM※内のPDF版「データ通信マニュアル」をご覧ください。PDF版「データ通信マニュアル」をご覧になるには、Adobe®Reader®が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROMからインストールできます。ご使用方法などの詳細につきましては、「Adobe Readerヘルプ」をご覧ください。
※付属のCD-ROMをパソコンにセットし、「マイコンピュータ」→「衛星可搬端末　01」を選んで右クリックし、「エクスプローラ」をクリックし、「データ通信マニュアル」をダブルクリックし、「衛星可搬端末01_Manual.pdf」をダブルクリックします。
「通信確認ソフト」「データ通信接続ソフト」の最新ソフトウェア、PDF版「データ通信マニュアル」の最新情報は、ドコモの法人向けホームページよりダウンロードできます。
・ソフトウェアダウンロード、オンラインマニュアル（取扱説明書）ダウンロード
http://www.docomo.biz/
※URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

データ通信／FAX 通信について

衛星端末から利用できるデータ通信について

衛星端末とパソコンを接続して利用できるデータ通信方式は、パケット通信と64Kデータ通信に分類されます。
衛星端末とパソコンをLAN（ストレート）ケーブル（市販品）で接続して、各種設定を行うと利用できます。
• 衛星端末では、パソコンによるデータ通信と音声電話を同時に利用できません。

■ パケット通信
送受信したデータ量に応じて課金されるため、比較的少ない量のデータを高速で送受信する場合に適しています。ネットワークに接続中でもデータの送受信を行っていないときは通信料がかからないので、ネットワークに接続したまま必要なときにデータの送受信を行うという使いかたができます。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」など、パケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、受信最大384Kbps、送信最大144Kbpsの高速パケット通信を行うことができます。通信環境や、電波などの混み合った状態の影響により通信速度が変化するベストエフォート（BE）方式による提供です。
• 受信最大384Kbps、送信最大144Kbpsとは、技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。実際の通信速度は、ネットワークの混み具合や通信環境により異なります。
• データ量の大きいファイルの送受信を行った場合、通信料金が高額になりますので、ご注意ください。

■ 64Kデータ通信
接続している時間に応じて課金されるため、比較的多い量のデータを送受信する場合に適しています。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」など、パケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、受信64Kbps、送信64Kbpsのパケット通信を行うことができます。
速度保証型のギャランティ（GR）方式による提供です。
• 受信64Kbps、送信64Kbpsとは、衛星端末と基地局間の通信速度であり、実際の通信速度は、基地局から先のネットワークの混み具合や通信環境により異なります。
• 長時間通信を行うと、通信料金が高額になりますので、ご注意ください。

衛星端末から利用できるFAX 通信について

衛星FAXアダプタ　01（別売）にG3 FAX 機（市販品）と衛星端末を接続してFAX 通信を行うことができます。
• FAX 通信の内容および接続設定方法については衛星FAXアダプタ　01の取扱説明書をご覧ください。

ご利用になる前に

動作環境について

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は、次のとおりです。パソコンのシステム構成により異なる場合があります。

項目	必要環境
パソコン本体	LANポートを持つPC/AT 互換機 ディスプレイ解像度800×600ドット、High Color16ビット以上を推奨
OS（各日本語版）	Windows XP（Microsoft® Windows® XP Professional operating system、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system） Windows Vista（Home Basic、Home Premium、Business、Ultimate） Windows 7（Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Ultimate）

項目	必要環境
必要メモリ	Windows XP　：OS 推奨 Windows Vista：OS 推奨 Windows 7　：OS 推奨
ハードディスク容量	300MB 以上の空き容量
ブラウザ	Windows XP　：Microsoft Internet Explorer6.0、7.0、8.0、9.0 Windows Vista：Microsoft Internet Explorer7.0、8.0、9.0 Windows 7　：Microsoft Internet Explorer8.0、9.0

- 動作環境の最新情報については、ドコモの法人向けホームページ（http://www.docomo.biz/）をご確認ください。
- 通信確認ソフト／データ通信接続ソフトは、IPv4に対応しています。IPv6には、対応していません。
- OSをアップグレードした場合の動作は保証いたしかねます。
- 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、上記の動作環境以外でのご使用について、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

必要な機器について

衛星端末以外に、次の機器が必要です。

データ通信

- LAN（ストレート）ケーブル（市販品）
- 付属のCD-ROM「衛星可搬端末　01用CD-ROM」
- パソコン（市販品）

FAX 通信

- 衛星ACアダプタ　01（別売）または衛星DCアダプタ　01（別売）※1
- 衛星FAXアダプタ　01（別売）※2
- LAN（ストレート）ケーブル（市販品）
- モジュラケーブル（市販品）
- G3 FAX 機（市販品）※3

※1 衛星FAXアダプタにDCアダプタを接続して使用する場合は、陸上のみでご使用できます。船舶では、ご使用になれません。
※2 衛星FAXアダプタにパソコンを接続してデータ通信を行う場合は、別途LAN（ストレート）ケーブル（市販品）が必要です。
※3 一部ご利用になれないG3 FAX 機があります。

ご利用時の留意事項

データ通信／FAX 通信をご利用になる前に、ワイドスターサービスおよびインターネットサービスプロバイダの契約内容をご確認ください。

■ インターネットサービスプロバイダの利用
パソコンでインターネットを利用する場合、ご利用になるインターネットサービスプロバイダのお申し込みおよび利用料が必要です。この利用料は、ワイドスターサービスの利用料とは別に直接インターネットサービスプロバイダにお支払いいただきます。詳細はご利用のプロバイダにお問い合わせください。
- ドコモのインターネット接続サービスmopera Uがご利用いただけます。mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。
- mopera Uをご利用の場合は、ワイドスターサービスの利用料とあわせてのご請求となります。

■ 接続先（プロバイダなど）
データ通信を行うときはパケット通信対応の接続先をご利用ください。
- mopera Uのサービス内容については、mopera Uのホームページをご覧ください。
  http://www.mopera.net/
- mopera Uの接続設定方法については、ドコモの法人向けホームページをご覧ください。
  http://www.docomo.biz/

■ データ通信／FAX 通信の条件
通信を行うには、次の条件が必要です。
- ワイドスターサービスエリア内であること
- アクセスポイントがパケット通信に対応していること

※上記の条件が整っていても、ネットワークが混雑していたり、電波状態が悪かったりするときは通信できない場合があります。

■ データ通信／FAX 通信と音声電話を使用する場合
- データ通信中にかかってきた電話に出たり、電話をかけた場合はデータ通信は切断されます。音声電話が終了した後も再開されません。
- FAX 送信中または受信中にかかってきた電話に出たり、電話をかけた場合は、音声電話が終了した後にFAXを送信または受信します。
- 音声電話中は、データ通信およびFAX 通信はできません。
- データ通信中にFAX 着信が発生した場合は、データ通信が終了した後にFAXを受信します。
- データ通信中は、FAX 送信できません。

お知らせ

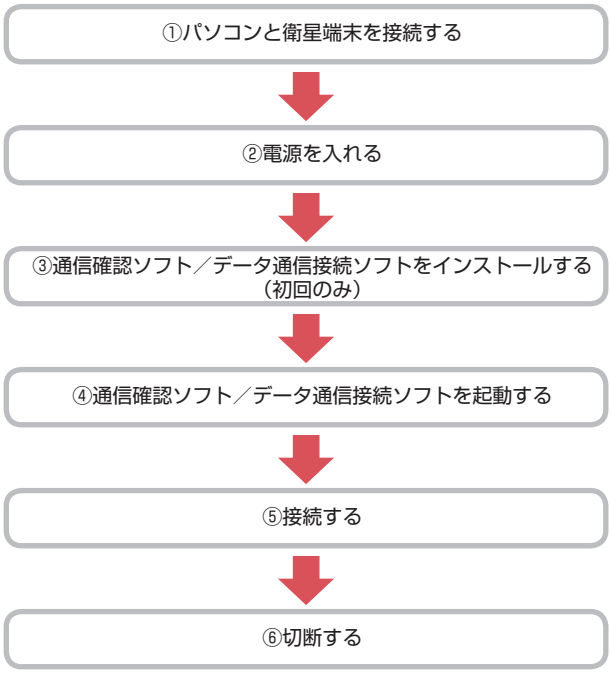
●ディスプレイに⇌xが表示されているときは、データ通信はできません。契約しているエリア（ビーム）に移動してください。
●データ通信中またはFAX 通信中に電話がかかってきた場合は、着信音が鳴ります。
- データ通信またはFAX 通信を継続したい場合は[FAX]または[CLR]を押してください。[MENU][FAX]でも継続できます。
- 電話を受ける場合は[TALK]を押してください。
（電話を受けるとデータ通信またはFAX 通信は切断されます。）
- 着信中に着信音量を調節する場合は[音量]を押してください。メニューで設定する着信音量には反映されません。
- 着信音が鳴っているときに、データ通信またはFAX 通信を継続する操作、電話を受ける操作のいずれの操作もしなかった場合は、約180秒後に着信音が止まります。

●データ通信中またはFAX 通信中に電話をかけた場合は、データ通信またはFAX 通信は切断されます。

データ通信／FAX 通信の流れ

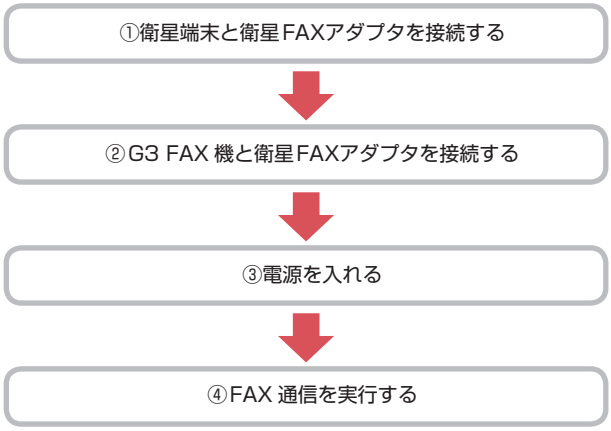
データ通信の流れ

パソコンと衛星端末を接続して、データ通信を利用する場合について説明します。次のような流れになります。



FAX 通信の流れ

衛星FAXアダプタ　０１（別売）にG3 FAX 機（市販品）と衛星端末を接続して、FAX 通信を利用する場合について説明します。次のような流れになります。



データ通信／FAX 通信時のディスプレイの見かた

データ通信／FAX 通信時に、衛星ハンドセットのディスプレイに表示されるメッセージで通信の状態を確認できます。

データ通信

メッセージ	状態
ﾃﾞｰﾀ回線接続中	回線を接続中
ﾃﾞｰﾀ通信中(BE)	パケット通信中
ﾃﾞｰﾀ通信中(GR)	64Kデータ通信中
ﾃﾞｰﾀ回線切断中	回線を切断中

FAX 通信

メッセージ	状態
ﾃﾞｰﾀ回線接続中	回線を接続中
FAX 通信中(BE)	パケット通信中
FAX 通信中(GR)	64Kデータ通信中
ﾃﾞｰﾀ回線切断中	回線を切断中
FAX 着信あり	FAX 蓄積データあり

CD-ROMについて

取扱説明書付属のCD-ROMには、衛星端末でデータ通信をご利用になる際のソフトウェアや、「データ通信マニュアル」「区点コード一覧」取扱説明書（PDF）が収録されております。詳細は、付属のCD-ROMをご覧ください。

- CD-ROMをパソコンにセットすると、警告画面が表示される場合があります。この警告は、InternetExplorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。「はい」をクリックしてください。

付録／困ったときには

■ メニュー一覧 86
■ ダイヤルキーの文字割り当て一覧 87
■ 衛星端末から利用できるサービス 87
■ オプション・関連機器のご紹介 88
■ 故障かな？と思ったら 88
■ こんな表示が出たら 90
■ 保証とアフターサービス 91
■ 主な仕様 92
■ 輸出管理規制 93
■ 知的財産権 94

メニュー一覧

赤文字は、設定リセットを行うとお買い上げ時の状態に戻るメニューです。→P65
• データー括削除を行うと、すべての項目がお買い上げ時の状態に戻ります。→P65
※1 通話時間・料金、パケット情報表示は、戻りません。
※2 ネットワークサービスについては『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

メニュー	お買い上げ時	参照先
0 自局番号表示	—	P37
1 セキュリティ		
1 発信者番号通知	通知する	P36
2 暗証番号変更	0000	P62
3 シークレットモード切替	OFF	P54
4 バックアップ設定	ON	P65
2 表示・操作		
1 キー確認音	ON	P58
2 エニーキー	OFF	P45
3 日付時刻設定	0000/00/00 --:-- (－)	P36
4 時計表示	YES	P59
5 バックライト	自動	P58
6 輝度設定	高	P59
7 着信ランプ	点滅	P59
8 キーライト	自動	P59
3 各種設定		
1 再接続設定	低音	P44
2 NW 設定	ベストエフォート	P69
4 電話帳		
1 電話帳禁止動作	OFF	P55
2 電話帳状況確認	—	P56
3 グループ名登録	グループなし・グループ1～グループ9	P53
5 発着信		
1 発信禁止設定	OFF	P63
2 メモリ着信設定	解除	P64
3 着信音量	レベル3	P58
4 受話音量	レベル3	P45
5 通話中機能選択	通常着信	P48
6 自動応答設定	OFF	P48

メニュー	お買い上げ時	参照先
6 通話・通信		
1 積算情報リセット	—	P68
2 積算時間・料金	0秒 0円	P68
3 通話時間・料金※1	0秒 0円	P68
4 ノイズキャンセラ	YES	P44
5 エコーキャンセラ	YES	P44
6 通話品質アラーム	高音	P58
7 パケット積算表示	0パケット 0秒	P68
8 パケット積算リセット	—	P68
9 パケット情報表示※1	0パケット 0秒	P69
7 サービス1※2		
1 転送でんわ	—	P76
2 留守番電話	—	P76
3 迷惑電話ストップ	—	P77
4 遠隔操作設定	—	P77
8 サービス2※2		
1 番号通知お願い	—	P77
2 英語ガイダンス	—	P77
9 設定状況		
1 設定状況確認	—	P65
2 設定リセット	—	P65
3 契約者情報確認	—	P37
4 データー括削除	—	P65
# 長押し ダイヤルロック	OFF	P62
電話帳 編集	—	P52

ダイヤルキーの文字割り当て一覧

キー	漢字モード（全角）	ｶﾅモード（半角）	数字モード（半角）	英数字モード（半角）	英数字モード（全角）
1	あいうえお1	ｱｲｳｴｵ1	1	.-@_/:~1	．－@＿／：~1
2	かきくけこ2	ｶｷｸｹｺ2	2	abc2	ａｂｃ2
3	さしすせそ3	ｻｼｽｾｿ3	3	def3	ｄｅｆ3
4	たちつてと4	ﾀﾁﾂﾃﾄ4	4	ghi4	ｇｈｉ4
5	なにぬねの5	ﾅﾆﾇﾈﾉ5	5	jkl5	ｊｋｌ5
6	はひふへほ6	ﾊﾋﾌﾍﾎ6	6	mno6	ｍｎｏ6
7	まみむめも7	ﾏﾐﾑﾒﾓ7	7	pqrs7	ｐｑｒｓ7
8	やゆよ8	ﾔﾕﾖ8	8	tuv8	ｔｕｖ8
9	らりるれろ9	ﾗﾘﾙﾚﾛ9	9	wxyz9	ｗｘｙｚ9
0	わをん－0 □(スペース)	ﾜｦﾝｰ 0 □(スペース)	0	!"#$%&'()*+,;<=>? □(スペース)0	！”＃＄％＆’（）＊＋，；＜＝＞？□(スペース)0
*	濁点，半濁点切替	濁点，半濁点入力	*	ｷｰ無効	ｷｰ無効
#	大文字⇔小文字	大文字⇔小文字	#	大文字⇔小文字	大文字⇔小文字
文字	入力モード変更				

※「＊」「＃」は、有効な文字のみ切り替えられます。

衛星端末から利用できるサービス

衛星端末から利用できるサービス	電話番号
番号案内サービス（有料：案内料＋通話料） ●電話番号の案内を希望されないお客様については案内しておりません。	（局番なし）104
電報の発信（有料：電報料）	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110＋地域番号
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119＋31（東京都）
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171
コレクトコール（有料：案内料＋通話料）	（局番なし）106
フリーダイヤル（無料）	0120-ｘｘｘ-ｘｘｘ
通話料金を知りたいときの100番通話（有料）	（局番なし）100
話中調べ（有料）	（局番なし）114

- フリーダイヤルは利用できない場合がありますので、ご注意ください。
- 一般電話の「転送電話」をご利用のお客様で転送先を衛星端末に指定した場合、一般電話／衛星端末の設定によって衛星端末が通話中、圏外、電源が入っていないときなどでも発信者には呼出音が聞こえることがあります。
- 110番、118番、119番などの緊急通報をおかけになった場合は、発信場所が特定できませんので、衛星端末からかけていることを伝え、警察、消防署、海上保安庁側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、現在地を明確に伝えてください。または、電波が途中で切れないように移動せずに通報し、通報後はすぐに電源を切らずに、10分程度は着信できる状態にしておいてください。

オプション・関連機器のご紹介

衛星端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、さらに幅広い用途に対応できます。
オプションの詳細については、各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- 衛星電池パック　01
- 衛星ACアダプタ　01
- 衛星DCアダプタ　01
- 衛星電池パック充電器　01
- 衛星ハンドセット　01
- 衛星ハンドセット置台　01
- 衛星FAXアダプタ　01
- 衛星屋外設置アンテナ　01
- 平型スイッチ付イヤホンマイク P02※1

※1 スイッチはご利用になれません。

故障かな？と思ったら

- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、取扱説明書裏面の「ワイドスターサービスに関するお問い合わせ先」、またはドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

衛星端末

電源

■ 衛星端末の電源が入らない

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。電池パックを取り外し、再度取り付けてください。→P24
- 電池切れになっていませんか。
- アダプタの電源プラグやシガーライタープラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか。
- アダプタと衛星端末が正しくセットされていますか。
- アダプタの電源プラグやシガーライタープラグをコンセントまたはシガーライターソケットから取り外し、5分以上経過してから、再度取り付けて電源を入れてください。

充電

■ PWRランプが赤色で点灯している

- アダプタを取り外し、再度取り付けてください。

■ BATランプが赤色で点灯している

- 電池パックを取り外し、再度取り付けてください。

■ 充電ができない（BATランプが点灯しない）

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。
- アダプタの電源プラグやシガーライタープラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか。
- アダプタと衛星端末が正しくセットされていますか。
- ACアダプタをご使用の場合、ACアダプタのコネクタが衛星端末または衛星電池パック充電器01（別売）にしっかりと接続されていますか。
- アダプタの電源プラグやシガーライタープラグをコンセントまたはシガーライターソケットから取り外し、5分以上経過してから、再度取り付けて電源を入れてください。

■ 充電ができない（BATランプが緑色で点滅する）

- 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、衛星端末の温度が上昇して充電ランプが点滅する場合があります。その場合は、衛星端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

衛星端末

■ 使用中・充電中に熱くなる

- 使用中や充電中に、衛星端末や電池パック、アダプタの温度が高くなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。

■ 電池の使用時間が短い

- 圏外の状態で長い時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。
- 電池パックは消耗品です。充電をくり返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなってきた場合は、指定の電池パックをお買い求めください。

■ 電源断・再起動が起きる

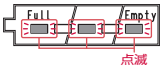
- 電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた布、綿棒などで清掃してください。
- FOMAカードのIC部分が汚れていませんか。

■ FOMAカードを認識しない

- 使用できるFOMAカード以外を挿入していませんか。→P23
- FOMAカードを正しい向きで挿入していますか。

電池パック

■ 電池残量表示のランプが点滅



- 電池パックが使用できないときにランプが点滅します。指定の電池パックをお買い求めください。

衛星ハンドセット

電源

■ 衛星ハンドセットの電源が入らない

- 衛星端末にしっかりと接続されていますか。

充電

■ ✉が表示されている

- アダプタを取り外し、再度取り付けてください。
- 電池パックを取り外し、再度取り付けてください。

衛星ハンドセット

■ 電源断・再起動が起きる

- 衛星端末にしっかりと接続されていますか。

■ 起動中のまま待受画面が表示されない。

- 衛星端末にしっかりと接続されていますか。

通話

■ ダイヤル発信できない

- ダイヤルロックを設定していませんか。
- 発信禁止設定を設定していませんか。
- 終話後、時間を空けてから発信していますか。

■ 着信音が鳴らない

- 着信音量を“消去”にしていませんか。
- メモリ着信設定を設定していませんか。
- 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間を“0秒”に設定していませんか。

■ 通話ができない（例：場所を移動しても“圏外”の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）

- 電源を入れ直すか、衛星端末の状態を確認してください。
- 電波の性質により、「圏外ではない」「電波状態は“ｘ”を示している」状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。
- メモリ着信設定など着信制限を設定していませんか。
- 発信禁止設定など発信制限を設定していませんか。
- 電波の混み具合により、電話やデータ通信がつながりにくい場合があります。その場合は“しばらくしておかけ直しください“、“[GR]しばらくしておかけ直しください“、“[BE]しばらくしておかけ直しください“と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

■ ツータッチダイヤルで電話がかけられない

- ダイヤルロックを設定していませんか。
- 電話帳呼出禁止を設定していませんか。

■ 通話していないときに音が鳴る

- 📞を押して音を止めてください。

画面

■ ディスプレイが暗い

- 輝度設定を“低”に設定していませんか。

■ **画面表示が消えた**

・電源が切れていませんか。
・衛星端末の電源が切れていませんか。
・衛星端末が電池切れになっていませんか。

音声

■ **通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる**

・受話音量を変更していませんか。

こんな表示が出たら

衛星ハンドセットに表示される主なエラーメッセージを「50音」、「英字」、「記号」の順に記載しております。

■ **暗証番号が誤っています**

・正しい端末暗証番号を入力してください。

■ **故障です**

・取扱説明書裏面・ワイドスターサービスに関するお問い合わせ先にご連絡の上、ご相談ください。

■ **この電話帳は上書きできません**

・シークレットモードでないときにシークレット属性を設定した電話帳を上書きしようとした場合などに表示されます。→P54

■ **この電話帳は削除できません**

・削除する場合は、各種設定の電話帳指定を解除してください。

■ **この電話帳はシークレット登録できません**

・シークレット属性に設定する場合は、各種設定の電話帳指定を解除してください。

■ **この電話帳は 選択できません**

・メモリ着信設定や電話帳発信制限などで、すでに指定した電話帳を指定しようとした場合に表示されます。

■ **削除できない電話帳があります 設定を確認してください**

・削除する場合は、各種設定の電話帳指定を解除してください。

■ **シークレットモード中は設定できません**

・メモリ着信設定や電話帳発信制限など、電話帳を指定する場合は、シークレットモードを解除してから設定してください。→P54

■ **自動応答設定中です**

・電話帳を編集する場合は、自動応答設定を解除してください。→P48

■ **しばらくしておかけ直し下さい**

・音声回線が故障、または音声回線ネットワークが非常に混み合っていますので、しばらくたってからかけ直してください。キーを押すとメッセージが消えます。

■ **充電してください**

・衛星端末の電池パックを充電してください。

■ **ダイヤル発信制限中です**

・電話帳に登録されていない電話番号へ電話をかける場合は、ダイヤル発信制限を解除してください。→P63

■ **着信あり**

・着信があった場合に表示されます。着信履歴を確認してください。→P41

■ **着信履歴はありません**

・電話帳発信制限などを設定した直後など、着信履歴が一件もない場合に表示されます。

■ **電話帳削除禁止中です**

・電話帳の修正や削除をする場合は、電話帳削除禁止を解除してください。→P55

■ **電話帳登録禁止中です**

・電話帳を編集する場合は、電話帳登録禁止を解除してください。→P55

■ **電話帳に該当するデータはありません**

・シークレットモードでないときにシークレット属性を設定した電話帳を呼び出そうとした場合などに表示されます。

■ **電話帳に登録されているデータはありません**

・電話帳のメモリが1件も登録されていない場合に表示されます。

■ **電話帳の登録には名前の入力が必要です**

・電話帳を登録する場合は、名前を必ず入力してください。→P52

■ **電話帳発信制限中です**

・指定した電話帳以外に電話をかける場合は、電話帳発信制限を解除してください。→P63

■ **電話帳呼出禁止中です**

・ツータッチダイヤルや電話帳から電話をかける場合や電話帳を編集する場合は、電話帳呼出禁止を解除してください。→P55

■ **登録件数がいっぱいです 不要な電話帳を削除してから登録してください**

・電話帳の最大登録件数を超えて登録しようとした場合に表示されます。→P55

■ **発信履歴はありません**

・電話帳発信制限などを設定した直後など、発信履歴が一件もない場合に表示されます。

■ **非通知の履歴から発信できません**

・非通知設定の着信履歴から発信しようとした場合に表示されます。

■ **メモリ着信設定中です**

・電話帳を編集する場合は、メモリ着信設定を解除してください。→P64

■ **FAX 着信あり**

・FAX着信があった場合に表示されます。キーを押すとメッセージが消えます。

■ **FOMAカード異常**

・FOMAカードが異常な場合に表示されます。

■ **FOMAカード未挿入**

・FOMAカードが衛星端末に挿入されていない場合に表示されます。衛星端末にFOMAカードを挿入してください。

■ **NW 設定 選択できません**

・帯域占有サービスをご契約でデータ通信のご契約内容が一種類またはデータ通信のご契約をしていない場合に表示されます。

■ **[BE] しばらくしておかけ直し下さい**

・データ通信設備が故障、または通信ネットワークが非常に混み合っていますので、しばらくたってから、再度操作してください。キーを押すとメッセージが消えます。

■ **[GR] しばらくしておかけ直し下さい**

・データ通信設備が故障、または通信ネットワークが非常に混み合っていますので、しばらくたってから、再度操作してください。キーを押すとメッセージが消えます。

保証とアフターサービス

保証について

- 衛星端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 衛星端末および衛星ハンドセットの故障・修理やその他お取り扱いによって登録された情報内容（電話帳など）が変化・消失する場合があります。万が一に備え、登録された情報内容（電話帳など）はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。

アフターサービスについて

調子が悪い場合は

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください。それでも調子が良くないときは、取扱説明書裏面の「ワイドスターサービスに関するお問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（液晶・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■以下の場合は、修理できないことがあります。
- 故障取扱窓口にて水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子・イヤホンマイク端子・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）
  ※修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■保証期間が過ぎた場合は
- ご要望により有料修理いたします。

■部品の保証期間は
- 衛星端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後６年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面の「ワイドスターサービスに関するお問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

お願い

■衛星端末および付属品の改造はおやめください。
- 火災・けが・故障の原因となります。
- 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
  ・液晶部やキー部にシールなどを貼る
  ・接着剤などにより装飾を施す
  ・外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
- 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。

■衛星端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。
- 銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。技術基準適合認証品

■各種機能の設定や積算通話時間などの情報は、衛星端末および衛星ハンドセットの故障・修理やその他のお取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。
- お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。

■衛星ハンドセットの下記の箇所に、磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- 使用箇所：スピーカー、受話口

■衛星端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、衛星端末の状態によって修理できないことがあります。

電話帳について

- お客様ご自身で衛星ハンドセットに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。情報内容の変化、消失に関し、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねます。

主な仕様

本体

品名	衛星可搬端末　０１
サイズ	縦約196mm ×横約180mm ×厚さ約39mm
質量	約1.3kg（電池パック装着時）
連続通話時間※1※2	約2.2時間
連続待受時間※2※3	約26時間
充電時間	ACアダプタ：約270分　　DCアダプタ：約270分

※1 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
※2 データ通信実行時は、前述の通話時間や待受時間より短くなります。
※3 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態で使用したときの目安です。なお、電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、通話・待受時間は半分程度になることがあります。

電池パック

品名	衛星電池パック　01
サイズ	縦約72mm ×横約151mm ×厚さ約24mm
質量	約335g
使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	7.4V
公称容量	5000mAh

衛星ハンドセット

品名		衛星ハンドセット　01
サイズ		縦約190mm ×横約56mm ×厚さ約20mm
質量		約250g
液晶部※1	種類	FSTN
	サイズ	約2.0インチ
	発色数	モノクロ2階調
	ドット数	128×128
電話帳		最大100件

※1 気温などの使用環境により、液晶部が見えにくくなる場合があります。

ACアダプタ

品名	衛星ACアダプタ　01
入力	AC100V 0.75A
出力	10V 3.5A
サイズ	縦約125mm ×横約60mm ×厚さ約31mm
質量	約250g

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。本製品及び付属品を輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省へお問合せください。

知的財産権

著作権

- お客様が本製品を利用してインターネット上のホームページからのダウンロードやテレビ、ビデオなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。

商標

- 「FOMA」、「ワイドスター」、「mopera U」、「WORLD CALL」は、NTTドコモの商標または登録商標です。
- Adobe ReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

その他

- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7（Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating system の略です。

索引

■ 索引 96

索引

あ
アフターサービス 91
暗証番号 62
安全上のご注意 6
アンテナ 18

い
一覧画面 21

え
英語ガイダンス 77
衛星端末から利用できるサービス 87
エコーキャンセラ 44
エニーキー 45
遠隔操作設定 77

お
応答保留 46
屋外設置アンテナ 34
オプション 88
主な仕様 92

か
角度を調整する 18
各部の名称 16
関連機器 88

き
キー確認音 58
キーライト 59
輝度設定 59
機能を選択する 21
緊急通報 43

く
区点コード 73
グループ名登録 53

け
契約者情報確認 37
圏外 19

こ
国際電話 42
故障かな？と思ったら 88
こんな表示が出たら 90

さ
再接続設定 44

し
シークレットモード 54
自局番号表示 37
自動応答設定 48
充電する 27
　充電時間 27
　ランプ表示 27
受話音量 40, 45
商標 94

す
スタンド 18
スピーカー受話切替 47

せ
積算時間・料金 68
設定状況確認 65
設定リセット 65

た
ダイヤル発信制限 63
ダイヤルロック 62
端末暗証番号 62
端末暗証番号変更 62

ち
知的財産権 94
着信音量 45, 58
着信ランプ 59
着信履歴 41
著作権 94

つ
ツータッチダイヤル 56
通話時間・料金 68
通話中機能選択 48
通話中保留 40
通話品質アラーム 58

て
ディスプレイの見かた 20
データ一括削除 65
データ通信 80
電源を入れる 35
電源を切る 35
転送でんわサービス 76
電池アラーム 33
電池残量 32
　衛星ハンドセットで確認 33
　電池パックで確認 32
電池節約モード 46
電池パック 24
　寿命 28
　取り付けかた 24
　取り外しかた 26
電池パック充電器 30
電話帳禁止動作 55, 63
　削除禁止 55
　登録禁止 55
　呼出禁止 55
電話帳検索 53
電話帳削除 55
電話帳修正 54
電話帳状況確認 56
電話帳登録 52
電話帳発信制限 63
電話を受ける 45
電話をかける 40

と
時計表示設定 59

の
ノイズキャンセラ 44

は
パケット情報表示 69
パケット積算表示 68
バックアップ設定 65
バックライト 58
発信禁止設定 63
発信者番号通知 36
発信履歴 41
番号通知お願いサービス 77
ハンドセット 34
　取り付けかた 34
　取り外しかた 34
ハンドセット置台 47
　置きかた 47
　取り外しかた 47

ひ
日付時刻設定 36
日付・時刻を合わせる 36

ふ
不在着信 41
プッシュ信号 42

ほ
保証 91
本体付属品 1

め
迷惑電話ストップサービス 77
メニュー一覧 86
メモリ着信設定 64
　許可 64

拒否 64

も

文字入力 72
画面の見かた 72
入力モード 72
文字割り当て一覧 87

ゆ

輸出管理規制 93

ら

ランプ 19

る

留守番電話サービス 76

英字

ACアダプタ 29
BATランプ 19
DCアダプタ 29
FAX 通信 80
FOMAカード 23
種類 23
取り付けかた 23
取り外しかた 24
LEVELランプ 19
NW 設定 69
PWRランプ 19
WORLD CALL 42

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。
※回収対象：衛星端末、携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）

ワイドスターサービスに関するお問い合わせ先
<ドコモ ワイドスターコールセンター>

0120-616-360

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。
受付時間　午前9:00～午後8:00（年中無休）

ワイドスターの故障に関する
左記受付時間外のお問い合わせ先

0120-089-360

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。
受付時間　午後8:00～午前9:00（年中無休）

● 番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　三菱電機株式会社

Li-ion 10

環境保全のため、不要になった電池は、NTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

再生紙を使用しています

VEGETABLE OIL INK

'12.4（4版）
RN430692D-01